

EDGE

WEST SIDE PUNK MAGAZINE

INTERVIEW

KO SLANG

MUNE 九狼吽

景山潤一郎 THE PRISONER

TOUR REPORT

NASS RAMONE 早朝ピストンズ

西日本バンド放談「広島 × 岡山」

JELLO (ASPHALT) × 片山裕基 (CRIKEY CREW)

今回創刊にあたりご協力頂きました多くの方々に、この場を借りて感謝いたします。コンセプトとして地方から発信する PUNK シーンを、より知って欲しいという事と、広島を活性化し、変えて行きたいという理由であった。ネットや SNS が普及した現在でも中々地方の情報は全国に普及しにくいという現状を感じたり、年々 PUNK そのものの閉塞感や行き詰まりを感じ、これまで届かなかった場所や人に少しでも届けれたらと創刊に至りました。創刊記念という事で、巻頭からスペシャルインタビューにページを割いてます。インタビューを敢行させて頂いた 4 名の御仁は、各々の地元であったりパンク〜 H/C シーンを、自分達なりのスタンスと絶妙なバランス感で盛り上げ、全国区に押し上げた人たち。どの言葉にも迷いなど一片も無く、これからのパンクシーンに於いて重要なヒントや道しるべとなるであろう言魂で溢れている永久保存版です。

PUNK ROCK は上を目指す音楽ではなく、前を目指す音楽。道なき道を切り開く姿勢でありたい。幸い自分が影響を受けているバンドや人は、常に前を向き、道を切り拓いてきた。近年、PUNK は細分化が進み、誰もその向かう先を知らない。しかし一方で、で PUNK の捉え方は大きく変化し、昔ならあり得ないラインナップのイベントが多く見られるようになり、素晴らしい事だと感じている。強力なリーダーも必要かもしれないが、まずは自分達の力で、我々の愛すべきこのホームタウンで何をすべきか、何が出来るのかを模索し行動に移していくことに決めた。今回はその一環であり、最初の一步。大きな流れや、大きな渦を作りたい、そういう発想ではなく。結果的にそういう流れになれば最高だけど。まずは行動に、PUNK 〜 H/C が教えてくれたシンプルなやり方だ。今回一緒にジンを制作してくれた ASPHALT の JELLO、蟲酸の BEN-K、も同じ考えだった。巻頭でインタビューさせて頂いた SLANG の KO 氏は、アウェイこそ必要な事だと、自分達やハードコアパンクを知らない人の前でプレイする事こそが、自分達に必要な事だと言いきっていた。強く心を揺さぶられたし、感銘も受けた。予定調和をぶっ壊してこそ、PUNK 〜 H/C の最大の魅力であり価値であろう。このジンを機に、西日本のパンクシーンに、少しでも目を向けてくれたら嬉しいです。

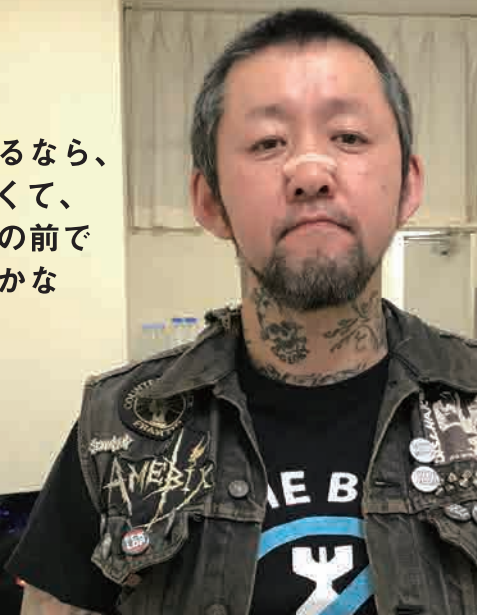
EDGE 編集人 NASS RAMONE
(DUMB RECORDS/SO-CHO PISTONS)

contents

- 3p KO (SLANG) **interview**
10p MUNE (九狼吠) **interview**
16p 「TEENAGE BOTTLE ROCKET JAPAN TOUR 2017」 **report**
22p 景山潤一郎 (THE PRISONER) **interview**
30p **西日本バンド放談「広島 × 岡山」**
JELLO (ASPHALT) × 片山裕基 (CRIKEY CREW)
38p プレゼントのお知らせ

ハードコアを続けてく上で、
伝える、発信する事を追及するなら、
SLANG の CD 誰も持ってなくて、
まして名前も知らない人たちの前で
演らなきゃダメなんじゃないかな

SLANG KO interview



札幌シティハードコア (S×C×H×C) をいち早く表明し、88 年ハードコア・パンク・バンド SLANG を結成。札幌にライブハウス (CLUB COUNTER ACTION)、レーベル STRAIGHT UP RECORDS を設立。札幌や北海道のバンドを中心にリリース。北海道のパンク～ハードコアシーンを全国レベルに押し上げた人物であり現在も様々なフェスやイベント、自身のツアー等で全国を駆け巡るバリバリの現役ハードコアパンクスでもある KO 氏。東北大震災の際のボランティア活動は後に大きな渦となり全国に拡散され、支援活動は現在も続いている。今回のインタビューは、2017 年 8 月 6 日に広島クアトロにて開催されたイベント 8.6.(eight six) のライブ後にインタビューを敢行した。8 月 6 日の原爆の日広島で SLANG がライブを敢行するのは今回で 2 度目。2009 年広島で開催された TO FUTURE に出演以来。ライブ終了直後にも関わらずインタビューを快諾頂いた KO 氏へ SLANG に感謝いたします。結成秘話から札幌シーンの成り立ち、現在の活動について語って頂きました。

文・インタビュー： NASS RAMONE JELLO

以下、K=KO / N=NASS RAMONE / J=JELLO

N 今回エイトシックスに出演されたっていう経緯は？

経緯はね、田原さん (MOBSTYLES) と、俺ほら、ブラフマンと、ノックアウトっていうキックボクシングのイベントの曲やることになって、その時に打ち上げで田原さんと喋ってて、その中でエイトシックスの話出て、「もし良かったら今度出てくださいよ」ってなって、その

場で確定。ちょうど 1 年前かな。8/6 に広島に行けるっていうのは

N 2009 年くらいですよね to future で 8/6 に広島に来たのって。それ以来の広島、待ってた人は多かったと思います。

だいたいスケジュールって飲み会の席で決まるよね。今回もその流れかな。

N KO さんからみて、広島のパンクシーンで

どう映ってますか？

やっぱ広島といえばガイ君。常に窓口で、バンドの先輩でもあるし、レーベルも店もやってて、気さくな人だしね。ずっとお世話になってるかな。シーンでいうと、結構地方って札幌とかもだけどミックスされてるよね、シーンが。HIP HOPとか、ハードコアも、バイカーとかさ。音楽にかかわってないカルチャーシーンとかも何か一緒にやったり。札幌でいうとパンクの歴史古いでいるんなジャンルの人たちがさ、昔から何かやってる人たちにはリスペクトしてくれてるのよ。飲みの席でケンカが起きて仲裁したりとかで絆が深まったりしてね。広島ってさ、昔の話だけどパルコ前に結構不良が溜まってたでしょ。それやたら覚えてて、それに対してルーザーがさ、普通にしゃべったり、飲みにいった時も道端でホームレスっぽいおっちゃんとかにも声かけたりさ、それがすごい衝撃だったよ。

」 バンドやってると、なんか増えるんですよ。変わった人の知り合いが。

一般の人に説明するぶんには、ほんと広島と札幌は似てるって思うかな。でも広島の方が、俺から見る街との接点というかいろんなカルチャーとの接点が密かな、って思うよ。おせじじゃなくて。札幌はさ、おれらくらいの年になると、会えば「久しぶり～」てのはあるけど一緒になんかやるってのはないかな。前に広島でタトゥーのイベントあったでしょ。あれでハードコアもHIP HOPも一緒にステージ出たから、おもしろいなーって思ったよ。

N 札幌も広島も近いなって感じですかね。僕もこないだ札幌でライブやって、一枚岩で層の厚さを感じたんですよ。

」 やっぱ KO さんがライブハウスやレーベルをやりだしてから札幌のシーンが全国でも注目されるようになったと思うんですよ。全国に先駆けて地方が注目されるようになったのって札幌だと。

札幌のシーンの歴史とかお伺いしてもいいですか。

札幌のシーンというか俺の話になってしまうんだけど、ちょうど一ツ上の世代にブッチャーズ、イースタンユース、その頃はスキャナーズってバンドだったけど。吉野さんはスキャナーズやる前から知ってて、ラフィンノーズと一緒に見に行った時に、「俺来年バンド始めるから」って言って。俺が15歳で吉野さんが16歳。ぜってー一負けねーぞみたいな感じで気合入ってて。で次の年に札幌ではスキャナーズがもうガンガンきてて。

」 その頃は怒髪天はもう東京ですか？

いやまだ地元で。怒髪天、ブッチャーズがいなくなったのは俺が21の時かな。15、16歳の時に増子さんや吉村さんと知り合ったから、そこから6、7年経ってからかな、東京へ行ったの。知り合った当時はさ、こんなスゲー人が札幌にはいるんだ。札幌スゲーぞ、東京がそんなに偉いのかよって当時思ってた。東京行かなきゃバンドできない、レコード出せないってそれまでは思ってたんだけどあの先輩たちも実は近いことは思ってたみたいで、「ダメだこれ、ラチあかなーな」って感じで「東京に乗り込んでやる！」って勢いで飛び出していた。

N カチコミみたいな感じで！

そう！だけども俺は、あの頃、札幌に根っこはってナンボみたいに思ってたから。裏切られた、みたいに感じちゃって。

N そこに意識のズレが。

そうだね。今となっては笑い話だけど、ホントあの頃、俺先輩たちにすごい噛みついてた。**」** 世代のズレかもしれないんだけど、KOさんより年下の世代の俺たちからしたら、**SAPPORO CITY HARDCORE=SC×HC**って響きとロゴにすごいカッコイイ……って憧れをもって

そうそう、ちょうど俺が×マーク使いだしたくらいに先輩たちが東京行くなって「えっ！」って。当時俺は特攻隊みたいな感じで先輩たちには「俺が行きますから！面倒くさい事は俺らに任せてください！」ってSC×HCって掲げて「舐めんな！」って

勢いでやってたら、上が一気にスカーンっていなくなって。自動的に急に俺が一番世代が上になって。俺もやっぱ東京行かなきゃ無理なのかな…バンドも続けられるのかな…って思った事は結構あるかも。札幌から出てった先輩たちが東京でどんどん活躍してく中で励みになる一方で同時に地方にいる俺はそんなことも考えたりしたよ。バンドを続ける事に関しては東京行った先輩が続けてる事で励みになったけど、地方で頑張る事に関しては、同じように地方で頑張ってる人がいるって事もだんだん知り始めて。考えたら俺より前の世代でジャパニーズ・ハードコアの先輩たちは地方で頑張ってる人たくさんいたんだよね、それこそ広島のカイ君は電話もたまにしていたし。地方同士の情報交換みたいな感じで。名古屋ってさ、ほら東名阪って日本の代表みたいなイメージ持ってたんだけど、実際名古屋の人達は、海外のバンドの来日ツアーでも東京、大阪とか多くて名古屋いつも飛ばされてて、そういとこにすごい憤りを感じてたからなんか俺らと感覚近くてすごい彼らとは共感できたかな。



N 名古屋って東京から近いし出やすいって思うんですけど、でもあえて出ないっていうのはそういう地元で、って意地が…。

そう。あったのかも知れないね。北海道からすると、東京、名古屋近いじゃんって思ってたけど。そうじゃなかったんだよね。当時横浜と東京の違いもそんな感じなかったしね。実際はそんなことなかったよ。知れば知るほど地元意識の強い仲間はたくさんいたんだよね。

N 北海道は広いんですけど、道内でも地元意識みたいなのはあるんですか？ジョニーボーイズとか旭川ですけど。

あると思うよ。シーンは分かれてるかな。ジョニーボーイズは旭川プライドを持ってると思う。まあでも俺が札幌札幌って言い出したから逆に意識した部分があるのかも。でもなんだかんだ古い知り合いだしジャンル問わず仲良いから北海道全体でなんかやろうよってすごい言いやすい関係だよ。

J 北海道ってなんか発信してるイメージ強いんですよ、KOさんはライブハウスやって、レーベルやって、それにインスパイアされた人は多いと思います。僕もその影響で広島でパンクショップ出したし。バンドやりながら生きてく術として、KOさんやKATSUTAさんが事業を始めて。

N バンドマンの生き方の新しいフォーマットを作った人たちだと思いますよ。

J 「真面目な世界にこの格好で行ってもいいんだ」って。当時万引きやら薬物やら悪い事ばっかやってた人らにはなんか、やさぐれた後ろ向きの意識みたいなのがあって、そんな中 KOさんや KATSUTAさんが店始めて、目から鱗が出たというか、自分たちで真面目に事業始めて、そこで自分達の世界観作って、世間に居場所作ってお金稼いで。そうやって世界を広める方法あるんだって励みになった人多いです。特にハードコアバンドを長く続けてたらどこか排他的になる瞬間があって、このまま続けてもなって思う反面、ハードコアってジャンルにプライドはあるし周りに認

識されたいし、でもこれやったらハードコアじゃないだろうって意識が常につきまとして。そういう事でいちいち悩むことある中で、SLANG がこういうイベント (eight six) に出るっていうのはハードコアの可能性としてすごい意味のある事だと思うんですよ。

さっきまでの話と続くことになるんだけど、商売の話や、生き方の話もそうなんだけど、「こういうのやったらPUNKじゃない」とかってさ、全然関係ないと思うんだよ。例えば今日だって「なんでSLANGはTO FUTUREじゃないんだよ」って流れを知らない人から言われたり、日本のどこかには「SLANGはメロコアとしかやらねーんだろ」って思ってるパンクスもいると思う。でも、違うんだよね。

SLANGの演ってる時間はさ、SLANGの時間だから。俺たちに与えられた30分はSLANGの時間じゃん。それはどこでやっても同じだよ。音的にこっちだよ、とか似たような者みたいな感じで括られるのも嫌だし。ハードコアやパンクって発信してナンボだと思うから。そりゃホームで仲間同士でやれば楽しいけど、フェスとかなるべくアウェイな環境でやることの方が意味を感じるというか。ハードコアを始めて続けてく上で、伝える、発信する事を追及するなら、SLANGのCD誰も持ってなくて、まして名前も知らない人たちの前で演らなきゃダメなんじゃないかな、って思うし。

KOさんから見て今の日本のハードコアシーンはどう見えますか。

うーん、よくわからないけど、イシヤ君や、その上の原爆オナニーズやガーゼもいるし、とにかく世代の幅が広いよね。ほら昔ってヤンキーかメタルしかなかったじゃん。特にヤンキー。俺の地元の人たちがモッズやアナーキーが好きな人が多くて。当時の中学の俺は札幌いったら、もうすごいだろうな、ロンドンみたいなんだろうなって考えてたの。そしたら、札幌こそヤンキー大国だった。ヤクザも多いし。でもそんな中に怒髪天の世代の人たちが、85年とかだ



2017.8.6「eight six」広島クラブクアトロ

SLANG ライブ終了後、アウェイな空気の中、KO氏は客席に深々と一礼しステージを降りた。美しくも胸に迫る光景だった

よ、赤とか青のモヒカンでケンカとかしてるの見て、俺、間違ってたかなって思うと同時に、俺この中でやってけるのかな、って思った。

N 増子さんは当時どうでした？

俺にはすごい優しくったなあ。すごいかわいがってくれた。とにかく増子さんと吉村さんがいなかったら今の俺はないって言えるかな。

J 一見音的には接点がなさそうですが

不良が札幌に集まった頃に高校行かず中卒でモヒカンで歩いてたから、先輩は「コイツ大丈夫か？」って心配してくれてたんじゃないかな。

学校行かずに平日から街ぶらぶらしてるガッチガチのモヒカンのがキがいたらそりゃ将来の事とかも心配になるよね。ちょうどそのころ増子さんと、俺と、初代のSLANGのベースのオーケーちゃんと、スプリット・ファイアってバンドやってたナオキってのと、同世代だと初代のSLANGのボーカルやってたアライ君と、札幌市内に4、5人しかいなかったんだよ。不良のたまり場でバキバキのモヒカンで、しかも朝から夜まで徘徊してる連中。だから必然的に仲良くなって。けどまあ増子さんはカッコイイ人なんで、あの人と吉村さんの影響力で当時ガキの

俺はさらわれたりしなかったのかもね。他のジャンルの上の人も、増子ちゃんの後輩ってことでみんなかわいがってくれて。ま、今思えばだけどね。あ、メタルと仲良くなったのは俺世代の独自路線かな。普通に人として仲良い人多かった。増子さんメタル嫌いだったから。

Ｊ そこから音楽的な影響も受けていくんですか？

そういう意味では札幌の先輩トップ3は、増子さん、吉村さん、吉野さんの3人で、当時言われたのが「人と同じことをやるな」って言われて、俺はハードコア、怒髪天は当時はラモーンズみたいな感じで、吉村さんはブッチャーズの前にメタルコアっぽい畜生ってバンドで、吉野さんはゴリゴリのOiで。それぞれ追及してたよね。

Ｊ 音源は売ってたんですか？

やっぱりね、広島のみザリーみたいな店あって、細い通路があって、そこにいつもシンナー吸ってる怖いのがいてさ、そこを乗り越えて買いにいったよ。

Ｊ 広島と一緒にですよ！

実際に入ると声かけてくれたり優しくてさ。またバンドやってる人に声かけられたりしたら凄く嬉しくてさ。15くらいの頃とか。サインと握手はダメだって思いながら。でも嬉しかったから。そういう気持ちは忘れたくないよね。だからしゃべりかけられたり、写真にしてもできるだけ応えるようにしてるよ。

バンド活動とボランティア活動の関係性についてお話しいただけますか？

震災から1週間くらいかな、雷矢のボーカルのヤスオの地元が宮古だからそこめがけ行ったら、本当にすごい光景で。もう瓦礫だらけで、生きてる間にこんな光景を見るなんて思ってもないし凄く衝撃を受けて。物資配ってたらいろんな人と話すでしょ、そうしたらまたすぐ持ってくるから、って約束してまたすぐ集めて、まだ運送も復旧してなかったから直接持って

いって、そんな中避難所は直接持って行っても受け取れないって事がわかって。家残ってる人に渡してそこから配ってもらうようにしたのがNBC 作戦の始まり。俺たちが直接持っていくよりも、窓口の人に渡してお願いした方が話が早かったのよ。宅急便復活したらもう時間もお金もかかるからそのやり方で。

N その分物資を集める方に時間かけた方が効率的ですもんね。

で最初は誰がまだ見つかってないとかそんな話が多くて、2回目に行った辺りから見つからない家族が何日かして遺体で見つかったとか聞いてさ。そんな中パワーストックをぜひやってもらいたって話を1か月も経ってない段階で言われて。雷矢とか知ってる宮古の子たちも俺が行ったときに会いにきてくれたりして、そこで。そんな時にやってほしいけど宮古は田舎だからイベントはできないと言われて。でも俺たちからしたら本州じゃん、って。でもどうしたらいいかわからないって言うから、ライブハウスがないなら作ればいいし、トラックの荷台に機材積んでライブやったっていいじゃん、何がないからできないとか言うのは違うぞ、ってちょっと説教みたいなことしちゃって。震災2週間とか経ってないのに、厳しい事言ってしまったって



思ったけど。俺はライブハウスも作ったしレーベルもやってるから、宮古の許可さえでたら俺いつでもやってやるって言ったの。そしたらすぐ許可とってきて「マジか！」って。で地域の人もちもやってくれてなって。震災3か月後の話だからさ、ちょっと気が引けるとこもあったけど、やるぞ！ってなって。場所さえあれば、発電機持ってくしなんとかするから。で、市場の駐車場なら使っていいってなって。機材積めるトラック2台用意してデッカイ発電機も持って…それで形にできたよね。

N 自分は THE MODS の大ファンでもありますが、KO さんが作られたライブハウスは全部 THE MODS の名曲と同じ名前ですが、意図的なものなのでしょうか。

名前は「社会に対する反抗・反撃」みたいな意味の名前にしたくて色々考えてたんだけど、COUNTER ATTACK よりカウンターアクションの方が響きがいいな？って思ってた、まあ、モッズの曲も好きだし、「これで良いか！」みたいに決めちゃった感じ（笑）

今後の SLANG の活動についてはいかがですか

特に決めてないかな。来年30周年なんだけど、新作出さなきゃな？程度で（笑）ほら、政治がずっとめちゃくちゃだから…。自分の中でどうかで割り切って言葉選び出していかないと、俺はできないタイプだし。





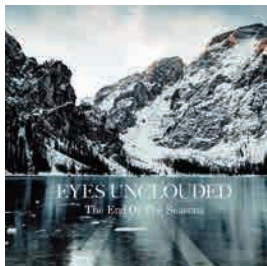
札幌の若き4人組「LOUR」が1st ALBUMをリリース。
爽快に駆け抜ける様なメロディーと重厚感あるギターリフや
ブレイクダウンでオリジナリティを遺憾なく爆発させ、ハードコ
ア、メタルコア、メロディックとジャンルを超えた様々なシ
ンから支持されている彼ら。最新作「Stay」は涙まで握り握
られ洗練された楽曲はもちろんの事、その中に散りばめられた
社大でメロディアスなギターフレーズ、重厚で緊張感のあるリス
ム隊、そしてメインボーカルの真摯で悲しげなメロディーが交
差し、彼らが日頃感じている「生きる事への葛藤」と「未来への希望」が
詰め込まれた一枚となって完成した。

RLCA-1201 Incl 11Songs ¥2,300(in tax)

特設サイト: <http://www.straightup-rec.com/lourfirst.html>

<https://twitter.com/loursapporo>

<https://www.facebook.com/loursapporolour/>



EYES UNCLOSED

The End Of The Seasons

2018.06.06 in Stores

札幌のメタルコアバンドEYES UNCLOSEDが待望の1st full Album「The End Of The Seasons」をリリース。
札幌ハードコアのスピリッツを背負いながら、自らメタルコアを抱け独自の活動を続けて来た彼等。
AFTERSHOCKやOVER CAST, Killswitch Engage等に代表される「MAメタル」からの影響はもろもろの事、
August Burns RedやParkway Driveの要素、そこにSLANGやYUKIGUN等を代表とする札幌ハードコアの
エッセンスを存分に取入れた唯一無二の作品となった。タイトで技術レベルの高いリズム隊が曲を正確に
リードし、テクニカルで変則的なツインギターのフレーズをのせてEYES UNCLOSEDのヘヴィなサウンドを
最大限に引き出している。そんな独創的な楽器隊のど真ん中で咆哮するボーカルのサウンドの核としてライ
ブでの圧巻のパフォーマンスを今作に見事に詰め込んだ。国内外においてもハイレベルな新ジャンルバンドの処
作として、シーンに衝撃を与える事は間違いないだろう。 RLCA-1202 Incl 11Songs ¥2,300(in tax)

特設サイト: <http://straightup-rec.com/eyesunclouded.html>



特設サイトにてMV公開中!

SOW THREAT

1st full album

"HATE&LOVE"



視覚聴覚共に強烈なメッセージの秘められた
沖縄Stench & Speed Core「SOW THREAT」
待望のフルアルバム好評発売中!
RLCA-1198 ¥2,000(in tax)

特設サイト: <http://straightup-rec.com/sowthreat.html>

<https://twitter.com/sowthreat2010> <https://www.facebook.com/sow.threat>

TRACK LIST: 1. Intro (Chaotic re-mix by EXTHPPLES) 2. WAR IS TRAGEDY 3. xxxxxxxx 4. You Bastard! 5. Fucked Up!! 6. FT.W
7. Island 8. Noise Terror 9. War system, Armes business 10. Under Pressure 11. Spending Silent Nightmare 12. Non violent protesta



モダンバイゲインなサウンドに、絶叫・咆哮・
スプークワードを織り交ぜた札幌ハードコアの
新鋭「HELLINE」待望のファーストアルバム!
RLCA-1196 Incl 10 songs ¥2,300(in tax)

特設サイト: <http://straightup-rec.com/hellinealbum.html> https://twitter.com/helline_xd

DEAD FISH BOYS

RETURN OF THE EVERLASTING YOUTH



「楽しい」「面白い」「ポップ」北のセンス全て詰め込んだ
SAPPORO THRASH HARD CORE「DEAD FISH BOYS」の
続編アルバム「Return of the everlasting youth」
全国各CD取り扱い店にて発売中! RLCA-1197 ¥2,000(in tax)

SAPPORO THRASH HARD CORE「DEAD FISH BOYS」が廃版になった
自主レーベル作品1st mini ALBUM「mini album/ Lazy life strikes back」,
カセットテープシングル「CYCLE E.P.», Pee-Wee RECORDSよりリリースされた
「A Bumpy fields forever」参加楽曲をまとめた続編アルバム。地元札幌
での精力的な活動はもとより、全国のTHRASH HARD CORE/バンドが集結し、
2015で催された「LET'S SLAM FEST 2017」に参加やワンマンライブを推
進するなどのアグレッシブな活動で全国から注目を集めてきた。
彼らのテンションで盛り上がり、彼らのメロディーがハイスピードで押し
寄せる「楽しい」「面白い」「短い」ポップ北のセンス全て詰め込んだ16曲。

TRACK LIST: 1.Pass 2.Last borderline 3.Raise a glass 4.Fight song 5.Like a pint 6.Complain 7.JUDGMENT DAY 8.Come back
9.Stick out 10.Need more 11.I scream you suicide 12.No faith/no bond! 13.my decision 14.Revenge 15.I don't know 16.Freedom

特設サイト: <http://www.straightup-rec.com/deadfishboys.html>

https://twitter.com/noda_fish_boy <https://www.facebook.com/DeadFishBoys/>



特設サイト: <http://straightup-rec.com/wakaba2nd.html>

<https://twitter.com/sssswakaba> <https://www.facebook.com/sssswakaba/>



https://twitter.com/STRAIGHT_UP_REC

<https://www.facebook.com/Straight-Up-Records-1515402998730431/>

WEB: www.straightup-rec.com

E-MAIL: reallife@straightup-rec.com



この企画が決まった時にすぐに MUNE 氏にインタビューしようと思った。なぜなら、日本を代表するハードコアバンド「九狼吠」のVoであり世界で1番有名なモーターサイクルクラブ「HellsAngles」(以下 HA) のアジア初の支部創立メンバーでもあり、混沌としたシーンにどデカイハンマーで常に叩き続ける姿勢に惹かれているからだ。そして、2017年11月某日、ハーレーで来広した MUNE 氏に日本と世界、そしてハードコアについていろいろ聞いてみた。

文・インタビュー： BEN-K NASS RAMONE

BEN-K(以下 B) (世界中を回りリアルなアウトローたちと接して、今の日本について思うことは？を質問する前振り) 今年ヨーロッパに行ったら世界地図を見た時に、日本はかなり右の端にあるじゃないですか…

どこから見ての端かってことだよ!! それはアメリカとかヨーロッパを中心とした地図だから端であってさ!! その考え方がつまらん!!

B はい泣

Far East とか日出ずる国だとかいろんな呼ばれ方してるけど…

NASS(以下 N) 勝手に自分のいるところが中心だぜって考えるんじゃないかってこと？

いや中心というか考え方とかじゃなく、いろんな見方をするべきだと思うんですよ

B では、もう一度リアルなアウトローたちと接していて、今の日本について思うことはありますか？

アウトローには(個人的に)好きで会うんですよ、パンクの友達でいうと(大きく分けると)世の中でいう極左だし、ネオナチも会うからそれを極右というだろうし、そういった人たちにも会いますね。凄く興味深くて面白い。貧しい国に行くとか移民の伝統というか、自分の国に留まっても成り立たない 祖父の代から移民してきたとか、弟はあの国で働いてるとか、叔父があの街にいてとか、そんな人がたくさんいて・・・日本の一般的な感覚とは違うな～って。「これは日本に持ち込めないか?」「これは日本で売れないか?」「これは

日本だといくらで売ってる？」って凄くグイグイくる。ビジネスチャンスをいつも探してる感じ。日本人にはない先進国に食い込みたい人たちのハングリー精神があるんだなーと思う。個人的にはそういう人たちも好きだし。。移民問題はヨーロッパに行くときと凄く感じるしよく耳にするね。しかし立場の違いであって何が正義かは俺にはわかりません。

やっぱり食べるのに困ってたら、ある程度のことを家族や生きるためにやってしまう状況ってのはあるのかなと思う。一方で、それを自分の国や街で散々やられて、さらには移民系ギャングが乗り込んできて無茶苦茶にされるんだったら、団結して追い出すっていう気持ちも勿論わかる。

N 双方の気持ちもわかるっていう。

立場なんだと思うんですよね、自分の置かれてる。だからどっちがいいとか言えないですね。

B そういった人（出会ってきたアウトロー）たちからは、日本はどういう印象なんですかね？

日本に来た HA メンバーやバンド仲間は日本人の親切心に感動してるね。

やっぱりレストランとかのサービスのレベルが高くてイメージかな。あと、トイレのウォッシュレット！持って帰りたいっていった w

B 広島の影響ってなにかありますか？

原爆と平和の象徴的な街じゃないかな。

あとは、真逆で仁義なき戦いと僕ら世代だと BADBOYS かな w

B 大のソース党で、なかでも「カーブソース」が一番だと聞いています。広島は「おたふくソース」がメジャーなイメージなんですが、「カーブソース」はなんで好きになったのですか？

昔、ベンケーからもらって美味しかったから。でも、この前広島のお好み焼き屋行ってからはオタフクソース派になろうかな！って感じ！



広島のパンドシーンについてどういった印象がありますか？

名古屋や東京にない・・大阪でもない独特なハードコアの発展がある気がする。。反戦！反核！ってイメージ。

B 広島も被爆して 72 年（2017 年現在）になり、原爆の体験を伝える人が少なくなって来ています。体験をしたことのないことを伝えていくことの難しさを感じます。戦争を知らない世代としてなにか思うことはありますか？

【はだしのゲン】など 解りやすい漫画や本を子供が読むと良いと思う。寄付金で【はだしのゲン】全巻を全国の小学校へ送るとか。子供には過激だけど。。それも日本の歴史だし、みんな読むべきだと思う。

B 誰だって「NO WAR（戦争反対）」だと思うんです。ライブの MC などで「戦争とは巻き込まれるもんだ」だと。巻き込まれる戦争に対しての巻き込まれないようにするにはどうしていくべきだと思いますか？

社会の仕組みを複雑化して難しくして、煙に巻いているのに気づけてことじゃないかな。結局は、戦国時代の国盗り物語みたいなことを王様たちがわからないように緩やかにやってるだけのことであって、それに気づけてことだよ。だって、一般庶民が隣の家の煙がほしいとかあっても、海を渡って大陸がほしいって規模にはならないじゃん。だから、結局国の規模で考えてる人たちがやりたいだけであって、一般庶民がやりたいことじゃないじゃん。百姓みたいな一般人の俺たちが洗脳されて「神風ー！」って、言っちゃたりすんの。やばいよね。だから、仕組みがわかってたら一般市民になんのメリットもないじゃん。大東亜共栄圏だって、アジアが平和になって広島で普通に働いてる人はなにが変わる？名古屋で暮らしてる人のなにがかわる？なにも変わらないよね。戦時中、金属が不足して鍋や農工具とか武器に変えられたけど、戦争に買ったら鍋に蓋付けて返してくれたの！? って事。

N さも必要かのように言ってるだけで

そうそう！だけど、景気が良くなったとして、(紛争、戦争で)よその国で人が死んでんのに景気が良くなって喜ぶなんてどんなんだ！? 例えば、朝鮮動乱があったとして「景気がいい！日本！いえーい！」って、アホかって！同じアジアの同じ民族だよ？海を渡っただけで。広島と山口で何が違う？海があるだけで、朝鮮だって中国だって台湾だってみんなアジアの同胞だよ。

B 「THE WORLD」という楽曲が印象(歌詞)に残るんですが、どういった感じで歌詞を書いたんですか？

国は国の意思があって、国民は国民の意思があって、だからいくら個人が期待してたって60歳で定年になると思っても65歳になったりしたりね。要は、約束された未来なんてないんだよね。資本主義だろうが、社会主義だろうが、共産党だろうがなんだろうがね。国が用意した仕組みの嘘やすり替えを見極める感覚というか、自分を強くするしかないんだよ。ということを歌ってるね。昔から一貫

して言ってることなんだけど、嘘だらけだから自分をそれに対応できるようにしとけてことだと思うんですよね。備えよ常に。今回出した(九狼峠/KOHU-63 SPLIT CD)「CHAINS」がまさにそれなんだよね。負の連鎖を断ち切るのはお前だぞっと。もの考えない70～80%人たちに流されるんじゃないよって思ってます。

B 今はネットでキーワードを叩けばいろんな情報が流れてて、その中から本当の事を知ることが出来るんですかね？

無理だよ。たとえば山歩きの達人の人がこれは食べれるもの食べれないものがなるとなわかっていく感じじゃないかな。例えばスキャンダルが出たりした時に、別でもっと大きなスキャンダルを出すとかの技術があると思うんだよね。同じような情報を真実と嘘のバランスを変えながら大量拡散でぼかす技術とかね。でも、そんなのはわかんないし。自分みたいな学歴もない、社会に適合する気もないような奴らはあんまり目立たないように生きて行くのがいいじゃないかな。ほっといてくれるしw ほっとかれないほど大きくなる方がいいと思うね。

今の日本のハードコアについて思うことはありますか？



最近、GISMの横山さんとよく喋るんだけど、横山さんといっしょにライブやった時も現役でバリバリやってるWARHEADにしろ、九狼呼にしろ俺たちが常に動いてないGISMと戦って…いくら伝説とはいっても負けるわけないと思ってる。でもみんなGISMが観たいのもわかる。ハードコアって絶対今だから！継続している奴らの魂の咆哮だから！そういう話を横山さんにしたら、「じゃあGISMは違うじゃねーかって!？」笑 でも、そうですよ！って、だから絶対やりたいんですよ。横山さんには横山さんの正義があるからそれで良いじゃないですかって。それでGISMが圧勝すればそれも面白いし!? だけど ジャッジするのは俺でも横山さんでもない、お客さんだもん。

5、6年前にフィンランド行った時に気付いたんだけど、ハードコアって=暴力ってイメージがあったんですよ。でも、それって日本独特で海外にはないんですよ。だから、海外ではお酒飲んで酔っ払って喧嘩はあっても、暴力の匂いをバリバリだしてるバンドってないんだよね、よくよく考えるとガーゼとかもそうだし。でも、GISMから派生したというか影響を受けた(たぶん)パーニングスピリッツとか阿鼻叫喚とかを観てたから、洗脳されてたというか、自分の中で勝手にハードコアは暴力!のイメージを持ってた。でも、それは自分の勘違い、ハードコアの一部であって全部じゃないんだよね。

B 今ハードコアから影響受けていく若い世代の人たちに対して伝えたいことはありますか？

オーバークランドで活動してないバンドは本物じゃないと思う。メロコアやヒップホップや売れてるバンドもそうだし、いつも同じような仲間のバンドばかり(ジャパコアだったらジャパコアだけクラストだったらクラストだけ、SKINSだったらSKINSだけ、身内で褒め合うみたいなことやるんじゃない、他流試合をやれるバンドじゃないと、カッコ良くない!だからって身内の中でも通用しないバンドに他流試合されても面白くない。

N いろんな冊子などで粋を飛び越えなければ意味がないといことを言われてますよね。

違う表現してる人と戦ってその人たちにいいねって思われないんだったら、自分の表現に意味なんかない。だから、どんどん外で試したい!ジャンルも国も飛び越えたい!海外で通用するバンドにしていきたい!

海外結構行かれてますよね。

司馬遼太郎の「竜馬がゆく」がすごく好きで。すごいじゃないですか、坂本竜馬とかいろんなトコ勝手に行っちゃったり、自分の正義で行動する。だから、やっぱりインターナショナルというか、結構子供の時から憧れてて初めて海外自分で行ったのって十六歳のときなんですよ。

N はじめてはどこへ行かれたんですか？

ロサンゼルス。中学3年生でヤンキーからパンクにはなってたんだけど、その当時、アメリカとかパンクに夢中になって ファッションとか興味持ちだして 当時遊びに行ってた古着屋さんが初めてアメリカに買い付けに行くんだ!って話をしてて、その話を聞いているうちに行きたくて行きたくてしょうがなくなってた。当時から自分で商売みたいな事やってたから、お金もそれなりにあって、それで古着屋さんに便乗してロサンゼルスへ付いて行った。猛烈に興奮したし、良い思い出だね。

N 実際行って刺激は受けました？

当時自分はパンクだったんだけど、パンクがパンクばかり聞いちゃダメ!みたいなのがあってHIPHOPも聴いてた。西海岸系の歌詞にもよく出てくるCompton(コンプトン)という土地があって…知ってる? 悪名高きCompton!

N&B いや聞いたことないです。

「Most dangerous Compton!!」って言われてて、ロサンゼルスで一番貧しいゲットーで、N.W.Aの映画でやってた場所なんだけどね。ロス市警が差別めちゃうちゃやっちゃったり、麻薬の売人とか泥棒もたくさん住んでて、信号が赤でも車は止まっちゃ駄目みたいな(カージャックされる)地域になぜか迷い込んだりした

し、せっかくアメリカ来てるのに、危ないから夕方6時以降はモーター出ないとか。俺もそうだし、その人も当時はもちろん知識なくて。今考えるとかわいい話だw。

N 普通はなかなか行かれないところもいっぱいありますよね？

バンドではフィンランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマークとかかな。野生のトナカイ観たよ。あと、去年はイギリスとかも行ったね。フィンランドいいね！あの辺だと、フィンランドが一番いいんじゃないかな。音楽に関しても寛容だし。HAではかなりいろんな国へ行ってる。去年は16ヶ国。今年は11ヶ国かな。

N 北欧はなにか繋がりがあって？

オファーがあったんで。CRUDEがその時はもう行ってたかな。シーンというかジャバコアのファンみたいなないのがそれなりにいるんだよね。で、(そのファンは)ジャバコアについて俺達より詳しいねw。

N 今後も海外ツアーを視野にいられていく？

来年また北欧行こうかなーとか。あとHAのメンバーで結構いいバンドやってる人とかいたりして、一緒にやろうよみたいなのがあったり。名前忘れちゃったけど、ウィキペディアにも載ってるようなメタルバンド。

N それはアメリカの？

それもフィンランド。フィンランドは田舎の街でも500以上に入るハードロックバーみた

いなんが成り立ってたりするから。一階はカントリーBARで、2階はハードロックBARだったり、平日からお客さんが結構入ってたりしてる。ライブもそこでやれたりする。

N 結構盛り上がったりますんですか？

フィンランドは1回目のツアーのときでっかいフェスでやって、メインステージのトリ前でやってかなり盛り上がった。おっぱい出して踊ってる女の子とかいたりしてw2回目はヘルシンキとタンペレという街で、200人くらいの箱(ライブハウス)で入りきれない状態だったりして、結構いいんじゃないかな。メンバーの都合とかもあるけど、毎年5回は行きたいというのが自分の希望ですね。

N 名古屋のシーンはどうですか？

名古屋市内で毎月第一土曜日にやってるDEAD CHAINはシーンの細分化を防ぐ意味もある。あれは名古屋の中心派閥って捉えている人もいるみたいだけど、そうじゃない！やっぱりシーンの細分化が一番つまらなくなる。

N それこそこれも得しないという

そうそう。でも、名古屋って12,3年前とかは細分化してたんだけど。バカな暴力系とか一掃したから今は良い感じ。第一土曜日には(イベント)被せてくる奴がいれば会いに行きますよDEAD CHAIN、これは派閥では無いです！これは必要だと思いますよ、どこの地域でも。

N 今後も九狼吠は海外でどんどんやっていく？
もちろん!!



出演バンドを随時募集しています。

ジャンルや経歴一切問いません。

ホールレンタル

キャパシティ：スタンディング時 約 200 人

レンタルホールプラン

月曜日～木曜日	4 万円
金曜日	8 万円
土曜日	10 万円
日曜日	9 万円
祝日	8 万円

※上記料金は全て税別になります。

学生プラン

月曜日～木曜日	4 万円
金曜日	6 万円
土曜日	8 万円
日曜日	7 万円
祝日	6 万円

※上記料金は全て税別になります。

※ホールレンタルに際して上記のプランで利用できる時間は 13:00～23:00（演奏は 22:30 迄）の内の 10 時間（バンド入り時間から完全撤収まで）以内です。

※使用時間を超過してしまった場合、それ以降は延長料金として 30 分おきに 5,000 円をいただきます。（時間外を希望の場合ご相談ください）

● 予約方法

レンタル、お問合せはメールにてお願いします。（予約は 6 ヶ月前から受付致します。）

※申し込み後のキャンセルは 2 ヶ月以降前でレンタル料金の半額、2 ヶ月以内で基本料金の全額を支払って頂きます。



<http://052red-dragon.com>

名古屋市中区栄 4 丁目 20 番地 1 号 ニュージャパンビル 5F

TEL 052-261-5007 / info@052red-dragon.com

SET YOU FREE 20th Anniversary!! TEENAGE BOTTLE ROCKET JAPAN TOUR 2017

US、ワイオミング州から来日した「TEENAGE BOTTLE ROCKET」初の JAPAN TOUR に札幌から THE KNOCKERS と広島から SO-CHO PISTONS の 2 バンドが帯同し、10 日間に渡る感動の全行程 10 公演ノンストップで駆け抜けたツアー詳細を完全レポート!!



5/13(SAT) 東京 @ 六本木 VARIT

5/14(SUN) 四日市 @VORTEX

5/15(MON) 名古屋 @RED DRAGON

5/16(TUE) 出雲 @APOLLO

5/17(WED) 福山 @MUSIC FACTORY

5/18(THU) 広島 @4.14

5/19(FRI) 大阪 @FANDANGO

5/20(SAT) 東京 @ 高円寺 HIGH

5/21(SUN) 東京 @ 町田 NUTTY'S

EXTRA SHOW

5/22(MON) 横浜 @F.A.D.

一地方から自分達の大好きなバンドを海外から招聘し、JAPAN TOUR を敢行する。一見とてつもない夢のような話かもしれないが、広島在住でその夢を実現し、ツアーも大成功となった我々 "SO-CHO PISTONS" と札幌の THE KNOCKERS、個人のプロモーターとして日本のインディーシーンの流れさえも変えたであろう SET YOU FREE を設立し今も尚、挑戦を続ける、千葉氏との奮闘記を記したい。今後海外からバンドを招聘したいバンドや個人プロモーターが、少しでも参考になったり、背中を押せたらと思います。

文：NASS RAMONE

やり遂げる意思と、やる勇氣、バンドに対する愛情と情熱

海外バンドを招聘したい。おぼろげながら、そんな夢や目標を抱いている人は結構いるのではないだろうか。冒頭でも書いたように、SNS やネットがある現在に於いて、決して実現不可能な事では無い。しかもここ広島（地方）から発信して行くことも。必要なのは、やり遂げる意思と、

やる勇氣、バンドに対する愛情と情熱、現実的な視野。偉そうに書いてますが、交渉中だったり準備中だったりの時には、一瞬後悔したりもします。先方からのリクエストで数年前には、海外バンドとのツアーは経験済みだったが、今回はコチラからオファーし、全ての条件を飲みツアーを敢行するのは初。メンバーの飛行機代は勿論、滞在するホテル代、食事代、移動費、全てこちら持ち。経費の計算中に金額を見て震えたのは初めての経験。しかしツアーを計画するにあたって、経費などの金額と向き合うのは決して避けて通れない部分。そこからチケット代金の金額を決め、全行程で最低でどれくらいの動員が必要か、そこからハコのサイズや各地のサポートバンドのブッキング、更には何処にどれくらいの幅でプロモーションをかけていくか等々…。ここまで読んで、超大変そうだな〜と感じる人も多いかと思いますが、そこは大好きなバンドを毎晩見れる！またバンドをやってる人は共演も出来る、更にツアーメイトとしてバンドも一緒にツアーできるかもしれない。これは招聘した人の特権でもある。チケットの価格も、あんまり高くもしたくないが、安くも出来ない。しかし、この形態でツアー経験の無い我々に、チケット代金を格安にする選択肢は無かった。しかも同系のバンドが来日した際に今回よりチケット代金が高く設定された場合、彼らのバンドの価値まで下げてしまう事になりかねない。3,500 円で統一する事に決めた。(もちろん相場も調べた結果) 一回こっきりのお祭りにしたくはなかったし、次のツアーも視野に入れた結果だ。平日の地方公演等は、やはりコチラからお願いしている事もあるし、3,500 円には難色を示された。広島でツアーバンドを受け入れる事もたくさんあるし、全くもって理解できた。そこで悩んだ結果、皆と話し合い、平日の地方公演は、2,500 円から 3,500 円の幅でやる事に決めた。その中で、その土地の感じで価格を決めて貰った。こうして考えてみると、ツアー全体がチーム



だし、全会場のオーガナイザーも、真剣に集客やツアーの成功を考えてくれた結果。どこの土地も最高に協力的で、ここは最重要だけど、本当に繋がりは超大事です!!! 価格が決まれば、そこからツアーポスターを制作し、ツアーのマーチャндаイズも制作しなければならない。Tシャツに缶バッジ、会場限定の SPLIT CDEP、トリビュート盤の制作…とにかくやること、決める事が山積み。周りの助けもあり、何とか全てが揃ったのはツアー 1 月前。そんなこんなで、ツアー 3 か月前に無事に情報解禁しここから既にツアーは始まっていた。DUMB RECORDS のサイトの管理も任せている今回のジンの仲間でもある蟲酸の BEN-K 氏にチケット予約サイトを制作してもらい、予約開始からガンガンに予約が入りはじめた! 知り合いのツテを全開で使いまくり、レンタカーもバンド仲間をお願いして 10 人乗りのハイエース DX を 2 台格安で借りた。海外バンドはガールフレンドや奥方を含め 6 名、THE KNOCKERS 組は 4 名、我々 SO-CHO PISTONS 組は 4 名、SET YOU FREE の千葉氏で総勢 15 名、さらに全員分の荷物に 3 バンド分の楽器とアンプと物販。2 台で荷台はパンパン。全てが揃ったのはツアー開始直前だった。

5月13日ツアー初日

我々 SO-CHO PISTONS 組は前日の夜中に広島を出発。広島で手配したハイエース2台に乗り込み、いざ羽田空港まで12時間の旅！海外バンドのメンバーの一人、ドラマーの Darren はカナダ在住のため、ほかのメンバーとは別便で前日の夜にカナダから一足先に到着し羽田の空港内のホテルに宿泊してもらっていた。(海外バンドはメンバーが全員同じ国に住んでいないパターンも結構ある) まずは彼と連絡を取り合いピックアップ出来た。その後、ツアーメイトの THE KNOCKERS が千歳空港から到着、第一班がピックアップしに向かい、そのまま初日の会場である六本木に向かってもらう。それから数時間後に、TEENAGE BOTTLEROCKET の残りのメンバーを乗せた飛行機が数十分遅れて到着。入国審査が無事通ったのか、不安で一杯な時間。数分後、刺青だらけの彼ら御一行が無事に現れ、一先ず安心したのも束の間、彼らとの自己紹介もそこそこに、飛行機の遅れもあり、そこからすぐに今夜の会場、六本木 VARIT へ急いで向かう。予定していた入り時間を、大幅に過ぎて会場に到着。物販を降ろし、会場で制作予定だった限定 CDEP の組み立ても、会場到着が遅れたせいで間に合わず…物販担当のスタッフもてんてこまい。自分は SO-CHO PISTONS のブレイもあるんで、サウンドチェックを先に済ませ、彼らのサウンドチェック後に、夕食をセッティング。海外バンドあるあるだが、メンバー内にベジタリアンは普通にいるし、事前に聞いてはいたが、今回の彼らは変則的で肉しか食べれない人、肉以外なら OK、なんでも食べれる人と3パターンだった。和系の居酒屋だとどちらでも行けると思い、そこで夕食をとってもらい、そうこうしていると、すぐに開場時間に。会場に帰ると入場の列が出来ていた。いい光景だったが、気合いも入る。当日は SOLD OUT で、会場もパンパンで全バンド大盛り上がりで初日は終了した。



2 日目は東京から三重県は四日市 VORTEX

この日はロングドライブだ。現 ZAY の Shin くんが運営する箱で、彼らがバンドマンという事もあり採算度外視で本当に良くしてもらった。ツアーバンドの TBR のメンバーも日本に慣れてきて打ち上げも大盛り上がりで最高に楽しんだ。当日も SOLD OUT で地元バンドと VORTEX 無しでは語れない最高のツアー 2 日目となった。

3 日目は名古屋 RED DRAGON

この日の移動は1時間弱、名古屋のパンク箱と言えば RED DRAGON!! 九狼牛 (CROWN) の Vo,MUNE 氏(本誌のインタビューにも登場！)が経営するライブハウスだ。主催は当日にも出演してくれた GASOLINE(他にも XERO FICTION, NOT REBOUND)のコウイチロウ氏。この日はバリバリの平日の月曜日。にも関わらず多くの集客をしてくれた主催のコウイチロウ氏に心から感謝。RED DRAGON オーナーの MUNE 氏にも大いにお世話になり大盛況で終了した。

4 日目、またまたロングドライブで、島根県は出雲へ。西日本ツアーに突入

約8時間のドライブで出雲に無事到着。今回ツアーに出雲を入れたのは、8割はこの日の主催であ

り島根を代表する神楽パンクバンド DR.BREAKER を彼らに見せたい事、2 割は出雲大社に連れて行きたい事だった。動員とかは気にしていなかったが、そこは DR.BREAKER。キッチリイベント成立させてくれました！！翌日はみんなで出雲大社に行き、TBR のメンバーも最高の体験だったと回顧してくれた。まさに世界レベルのパワースポットだ。(冒頭の写真)

5 日目は広島県の福山 MUSIC FACTORY

当初この日は OFF の予定だったが、この箱のスタッフに熱烈な TBR ファンが数人居て、何んとしてもウチでやらせて欲しいとの要望をメンバーにも伝えて彼らも快く受け入れた。彼らの熱量は本物で、凄まじいまでの情熱で宣伝やフライヤーもどの会場よりもいち早く対応してくれ、当日も平日にも関わらず多くのファンを集めてくれた。この日は同じ広島県内の箱なので、そのまま SO-CHO PISTONS の BAVO 宅に宿泊。一泊だけ日本の家を体験してもらった。



6 日目は我々のホームグラウンドである広島@4.14

当日は BAVO 邸の庭にて全員で BBQ を開催。このツアーは OFF 日が無いノンストップツアーで、この辺りから全員の疲れもピークに。しかし、この日は我々の地元広島。何んとしても盛り上げなくてはならないし、ひと際気合もはいる。蓋を開けてみると、平日にも関わらず予想以上の大入り！ソールドアウトに近い動員を叩き出してくれた。広島のパンクスに大感謝！

ツアーはいよいよ後半のラストスパートへ、7 日目は大阪@FANDANGO

ここからは SET YOU FREE 企画となり、大阪の盟友 THE WIMPY' S が出演。大阪も平日にも関わらず大盛況の大入り！FANDANGO の楽屋で加藤店長と朝まで飲んで一泊させて頂いた事は最高の思い出。TBR メンバーも打ち上げで大盛り上がりで死ぬほど酔っ払ってました！

ツアー 8 日目はいよいよファイナルへ。東京@高円寺 HIGH

今ツアー最大の箱にしてクライマックス。メンツも最高でソールドアウト！！大阪辺りからバンド同士別れが近くなっている事も意識し始め、事あるごとにハグ、ハグ、ハグ。全員がチームとなり、ライブのテンションも最高潮へ。これぞツアーの醍醐味だ。終演後は箱打ち上げで出演バンドも参加し別れを惜しむ様に予定時間を大幅にオーバー。最高の時を過ごした。

ツアー 9 日目、東京@町田 Nutty' s ツアーファイナル

遂にツアー最終日。東京の端っこに存在する最高の PUNK 箱。トロゴリや Oi SKALL MATES のベシストでもあるシムくんのライブハウス。この日も完全ソールドアウト！！

THE HEADBANGERS, DISGUSTEENS というこれ以上ないであろう RAMONE CORE 祭、加えて復活した FOUR TOMORROW がサポートに！！最高のテンションでツアーファイナルも大盛況で終演。Nutty' s で、軽く箱打ち上げ、乾杯は TBR の RAY にお願ひしステージから全員でツアーの無事な終了と大成功をお祝ひした。



最初は当然バンド間に距離があった。言葉も上手く話せない。弦の交換等で機材を触るのも躊躇された。でも逆の立場でも理解出来る。初めて会う異国の地の人に、大事な機材は託せない。しかし、この数日後にはみんなとも仲良くなりチーム感も出始め、最終的にはちゃんと機材を託してくれた。その代わり、機材の管理は徹底した。基本的に目の届かない場所に放置しない。深夜も機材車内には置き去りにしない等だ。メンバーのBAVO&KEIICHI,KNOCKERSの面々がキッチリ対処してくれた結果だ。こうやって、次第にツアークルーが一体となりチーム感がハンパなくなってくると後は放っておいても、良いグルーブしか産まれない！日を重ねる毎に、朝からハイタッチにハグ、言葉は通じないが自然と一体感が生まれ始めた。これぞツアーの醍醐味。



今回ツアーパートナーにTHE KNOCKERSを誘った自分を褒めてやりたいくらい、本ツアーは彼ら無しでは語れない。ツアーオーガナイザーとしては、もちろん各地での動員、金勘定も視野に入れて動かなければならないが、彼らの持つお客さん目当てでは全く無かった。新たな価値観や新たなお客さんを共有したかった。結果的には、どの土地に行ってもKNOCKERSのTシャツ着込んだファンが必ず来てくれていた。

KNOCKERSがこれまで、しっかり各地をツアーで回ってきた事をまざまざと見せつけられた！準備段階でKNOCKERSのアツシとツアーに対する意見や見解の相違があり軽くぶつかり合ったりもしたが、裏を返せば、それだけアツシが、このツアーに対して本気だった事。単純に嬉しかった。ツアーに誘われたから、乗っかっとうみみたいな姿勢ではない。絶対にツアーをコカす訳にはいかんと心に誓った。

10日目～別れの時

一行は町田に宿泊。最終日はご褒美にツアーに帯同したバンドも全員ホテル泊。我々は経費削減もあり、全行程を車中やツアー先の主催者宅、四日市や大阪ではライブハウスにそのまま泊まらせてもらった。ホテル泊も自分たちはツアーの収支計算で深夜まで全工程の収支計算に追われた。朝ホテルのロビーでTBRに収支表を確認してもらい金額にも快諾



を貰い、収支も黒字でツアーは一定の成果をあげ大成功で終了した。最初は金額も細々言ってくる場合もあるが、結局ツアーが素晴らしかったら問題なく受け入れてもらえる事が多い。フライト時刻までは浅草で観光と皆で最後のランチ。羽田まで全員でお見送り、メンバーには涙する者も居て最高のツアーだった事を物語っていた。

1つ絶対に言っておきたいのは、本当に彼らがナイスガイで、我々に対しても、感謝とリスペクトを持って接してくれていたし、ライブも全行程、動員があろうが少なからうが全力のフルパワーライブ。途中Vo.RAYの声が潰れ掛けた事もあったが、お構い無しで叫び捲くってた。彼らのライブはいつも感動的だった。彼らから学ぶ事は多かった。本



当に尊敬出来る最高のバンドだった。日本に呼んで本当に良かった。最後の見送りの空港の写真を見て貰えたら全て分かってくれるでしょう。必ずまた日本に帰ってくると力強い約束もしてくれた。次回は北に行く約束した。必ず実現するつもりだ。関わってくれた全てのみんなのおかげで人生史上最高のツアーとなりました。本当にありがとうございました。また必ずやるよ。

About TEENAGE BOTTLE ROCKET

2001年、EMO メロディック・パンク・バンド、"HOMELESS WONDER" で活動していた Ray(Gt/Vo) と Brandon(Dr) の Carisle 兄弟を中心に、US のワイオミングにて結成、2003年に1stAL『Another Way』(日本未発売)をリリース。その後、現在もPOP PUNK ファンから絶大な人気を誇り、あのFAT MIKEも大ファンというTHE LILLINGTONSのKody(Gt/Vo)が正式に加入。2005年には当時Fat Wreck Chordsで働いていたTobyのレーベル、Red Scare Recordsと契約し傑作2ndAL『Total』(日本未発売)をリリース。2007年12月にはファンの間でも、名作と名高い3rdAL『Warning Device』を発表。2009年、4作目となる最高傑作"THEY CAME FROM THE SHADOWS"をリリース。本作から、ついにFat Wreck Chords所属となり、2012年には引き続きFat Wreckから5作目となる"FREAK OUT"をリリース。2015年最新作の"TALES FROM WYOMING"を突如USの大手レーベル"RISE RECORDS"からリリース。

全てが順調に見えたツアー後に、オリジナルメンバーであり、Vo.RAYの双子の兄弟でもあるスーパーエイトビートドラマー BRANDON が、自宅で意識不明で発見され、懸命の処置も届かず37歳という若さで急逝。メンバーのショックは想像を絶し、特に双子の兄弟でもあるRAYのショックは計り知れない中、RAYはBRANDONへの想いをソロ名義のアカースティック作品としてリリース。メンバーも全面参加し、彼を弔った。その後バンドの存続も危ぶまれたが、2016年、新ドラマーChewka Darrenを迎え、完全復活!! 2017年にはFAT WRECK CHORDSにカムバックし、初のカバーアルバムをリリース。現在も世界中をツアーし続けている。



THE PRISONER

景山潤一郎 interview

東京から飛び出し、毎年ツアーをし、
世界の中心はそのシーンの数だけある
という事をまざまざと見せつけられた！！

今や日本で最もアクティブ、且つ一本筋の通った活動を続けるパンクバンドといえる THE PRISONER!! そのリーダーであり唯一無比のヴォーカリストでもある景山潤一郎氏にインタビューを敢行。自身も何度も共演させて頂いているが、彼らのライブから学ぶ事は多い。年間約 50 本のライブを常とし、全国を駆け巡っている彼ら。彼の言葉からは確信的な言葉も多く、現在日本のパンクシーンが抱える問題点を見事に射抜いている。同じ想いのパンクスも、彼の言葉で少しでも霧が晴れるはずだ。パンクに限らず、全てのレベロロッカーに送る禁断のインタビュー!!!

文・インタビュー： NASS RAMONE

近年の活動を拝見して、日本のパンクバンドの中で一番アグレッシヴでアクティブに動いている印象があります。この原動力は何でしょうか？

活動的になったのは必然的でした。結成当初は既存のパンクに対してのカウンターを意識していたのでリリースは早くなり、ライブは多くなりました。当時、2006 年頃、私達周辺のバンドはリリースペースは遅く、ライブもそんなに多くなかった。ツアーも仲間が居る土地にしか行かない閉鎖的な感じでしたので全てを逆手にとって活動しました。やってみると自分達にあっていったというか、そのペースがマイペースになったのか、自然に流れました、息も顎もあがることはなく。ですから

自ら自分のケツを叩き、メンバーを鼓舞し、薪を組んで、鼻息荒くやってきたという訳ではないんですよ。いつのまにかこのペースになっていましたというのが正直なところです。時代が違うから比較対象にならないですが先輩バンドのザ・クラッシュやザ・ジャムも同じ様なペース、もしもっと回転が早かったですから。あの当時より現代の方が情報や時代の流れは早いですから自ずと閃きや創作意欲も早くなるものだと思います。世に発表するツールは手軽にポケットに溢れているような時代ですから。この感覚は個人的な「ジャーネーの法則」かもしれませんが、10 年に 1 枚アルバムを出すバンドに対して「悪い」「愚か」とは決して思っていない。私達にはこのペー

スが自然なんですよ。ライブも年間 50 本はここ 10 年近くやってきてるんで。最早ルーティーンですね。究極のライブ・バンドを目指していますから 笑

山口県でのライブが初という事だけど、西日本はこれで全県網羅したかな。元々は潤一郎氏とギターの理氏は岡山出身という事ですが、岡山のシーンの印象は？また広島のパンクシーンについての印象も併せてお聞かせください

初山口最高でした。ありがとうございました。しかしあれですね、山口、広島、岡山…パンクのレベルが高い！意識もクオリティーも。で造詣が深い。ただ単に東京にメディアや会社が集中しているから情報や行動が早く、優れている様に錯覚、操作されているだけで、各都市と東京を比較するならば物事の完成度は負けず劣らずですよ。はっきりと断言できます。世界の中心はそのシーンの数だけあるという事をまざまざと見せつけられました。岡山の印象…岡山で生活したのは生まれてから 17 歳ぐらいまでだったのでそれ以降の事は判りませんが、僕がパンクに目覚めた時はスキンヘッドが隆盛を極めていました。スキンヘッドは「族」として PTA にも認知される程、暴走族などと同等に族としての存在感を放っていました。ただ多くは学生で不良というよりお洒落な学生の暴力集団。そんな感じでした。クリッキー・クルーの名前は僕等みたいなチンピラ学生の間にも轟いていました。ロカビリー、サイコビリー、そしてモッドも居ました。勿論パンクも。ディメンテッド・アーゴの初来日、グアナバツの地元襲来でサイコビリーは出来たばかりのトライブでした。岡山では。ただそれらのトライブは音楽的な繋がりと言うよりギャングメンタリティな村社会、ヤクザ組織として機能している印象が強かった。クリッキー・クルー自体はそんな事関係なく活発で真摯な活動をされていました。一種のムーヴメントになっていたので周りを取り巻くスキンヘッドは急激に増加していました。若さは激しさと暴力を好みますから。

言うまでもなく自分もその中の 1 人、パンクの恰好して仲間と岡山駅前にたむろしている時は世界は自分達だけの物だとすら感じていました。ですから岡山の印象は今も昔もクリッキー・クルー。その一言に尽きますね。今ではサイコビリーのアニー等クリッキー・クルーの背中を見て育った良質のバンドが精力的で頼もしい印象もあります。広島の印象、広島初体験は 16 歳の頃、当時フォームしていたバンドで広島県福山市ヘツアーで行った時に激しい洗礼を受けました。綺麗なモホウクの頭両サイドに刺青が施されティアドロップ型サングラスで武装したパンカーがライブハウス入口付近に居て、しかもリハーサル前に。この上ない激しいインパクトでした。もう視界に入っただけで負け確定。ラヴゲーム。最初の印象が極端に強烈すぎました。戦意喪失と言うか心の敵前逃亡と言うべきか。全力でライブはやったのですがインパクトも演奏力も、思い入れも桁違いで打ちのめされたトラウマがあります（笑）あの衝撃はクラッシャーバンバンビガロと高層エレベータの中で二人っきりで睨みあいになった時以上でした。現在の広島の印象は早朝ピストンズ、ネヴァー・アゲイン等、唯一無二の個性的で質の高いバンドが存在しているのが象徴しているとおり、良い傾向にあると感じます。楽屋でこれ見よがしにガンジャやコカイン並べて「僕やります！」「僕、悪い奴です！」ってアピールする成人デビュー的な輩も居なければ、それに群がるパブロフの犬的な周辺も居ないし、「ビッ」としてますよね、不良的で大好きです。嗜むものは嗜むとして、しっかりと場所と時間を弁える本当の不良具合。そういった「おどれはダサイまねしくさんよ！」って感じの空気が広島の特徴だと思います。後は不良度数が高いのが男性だけではなく、女性達も高い。特に早朝ピストンズ周辺の女性達はなかなか居ないカッコ良さだと思います。



現在ホームとなっている東京のパンクシーンの現在について

私達はどこのシーンにも属していないかもしれませんが。逆に言えばパンクと名のつく全てのシーンに関係し属している事が言えるかもしれませんが。高年齢化しているのはどこのシーンにも言える事です。細分化された其々のシーンに其々に牽引している顔役が居てそれを囲むように組合員が存在する形です。細分化されたシーンは其々の価値観を持っていると思います。そう感じます。自分が10代後半～20代前半の頃、シーンはずっと大きくて今ほど細かく分かれていませんでした。80年代のそれではなくミッド90年代の東京は海外で触れたカルチャーに触れた本人が直接持ち帰り広めていった印象があります。本当の意味で海外スタイルのパンク黎明期でした。1つのシーンにハードコア、スキズ、スケボー乗ってる奴やボロを纏ってる奴も混在していました。物凄く楽しかったですよ。見た目は違えど仲間、先ずそれが最優先事項でしたから。インターネットが普及して情報が其々のスタンスをより強固にした、否、してしまった印象があります。それによって同じ服装、趣味で固まらなければいけないルールが出来た。そのルールはやがて高く積み上げられる事になっていきました。自分達の視界を遮るほどに高く。例えばDOLL誌の広告欄など子供の落書きレベルの広告が多数存在していたじゃないですか。本当に自由に。ああいった

側面、言ってしまうと未完成が存在できない環境は異常です。最初からコンビニに陳列されている商品のように完成されているのは滑稽です。存在が管理されやすく統制されているのにレベル・ミュージックだなんてもう正直、意味が解りませんよね。自分自身になろうとすると擲擲される風潮。ジョージ・オーウェルの世界ですよ。危惧するべきです。もっと情報が遠く、自由だった頃は皮ジャンのペイントも今では目を覆う出来なものも多かったはず。自身もそんな中の一人でしたから。ああいう自由度は現在では皆無に等しいですね。キャンパスをはみ出す様に自分自身を描く奴は現れなくなりました。仮に現れても変態扱いされ黙殺されるんじゃないでしょうか。少数派はいつの時代も常に弱者ですから。先輩や仲間と褒められる事がパンクとしての誉れになってしまっていますからね。既存のパンクに「お前らはパンクじゃねえ！」と烙印を押される様なカウンターはなかなか出現しづらくなっていますよね。ネット社会で情報や価値観の共有、強制が蔓延っていますから。影響力がある側からの判断基準や価値観をインストールして上書きしてしまうのが昨今の風習のように感じます。現在のパンクシーンの浸水はその角度の破損が決定的ではないでしょうか。

現在の日本のパンク /H/C(Oi ~ skins) シーンについて

日本のパンクシーンの全てを知っているわけではないですが、1人の意見として。レジェンドと言われるような先輩達のパンク・バンド。所謂、メジャーを経由して現在に至るパンク・バンドが、このクラシック・パンクの世界では未だに力を持っています。演奏力、バイタリティー、そして集客力も。彼等を擲擲する人達も勿論多数存在するのはあたりまえなのですが、自分はずっと考え方が変わり肯定的に捉えています。彼等はメジャーレーベルを離れた今もしっかり自分達でバンドを

運営し、活動しています。その背中には尊敬に値します。地方の都市ではより顕著に蝸牛考の停滞、硬化は現れています。メジャー期に洗礼を受けた潜在ファンは多数存在しますから購買層、客層に直結しているのではないのでしょうか。その購買層も子育てが終わりライブハウスに戻っていく、子供達も親の影響でバンドが好きになりライブに遊びに来る。そんな事例を数多く目撃します。賛否はあると思いますが素晴らしい現象だと思います。ハードコア・シーンについては全くわかりません。申し訳ない。Oi! ~ SKINS シーンは新たな風が入ってきています。Oi! やスキンヘッドはこの国で長い事、曖昧な形で受け継がれてきました。しっかりした紹介をメディア、所謂音楽出版社、ライターは怠ってきました。これは大きな罪です。仕事としてやっていらっしゃる方々が適当な紹介をして、その価値観、情報が垂れ流され蔓延した結果が今です。過激な政治的アプローチをとってしまったバンドもあるでしょうが無知で若さ溢れる学生に、暴力や過激なメッセージ、刺青や、ヤク



ザ精神的なイメージに憧れるなどと言う方が無理な話。若い頃は過激な方に流れていくのは自然な事。バンドだけを槍玉にあげるのはどうでしょうか。本来、その輸入文化をしっかりと導いていく役割の機関が糞の役にも立たない程腐りきっていた結果、今の様な事態になっているのではないのでしょうか。悪戯に政治的なイメージを取り入れると取り返しのつかない事になる事は解っていたはずです。煽動したメディア、担当者も糾弾されてもしかたがないと思います。自分はバンド人間ですのでどうしてもバンドの肩を持ってしましますね、同業者ですから。あと「俺達は正しい! この国を愛しているだけ!」みたいな集団心理を掲げるのは自由ですが絶対に政治的なマークやイメージ、象徴は掲げるべきではない。殺人者や殺人集団がプリントされさシャツを着るという事は殺された被害者遺族がそれを目撃する可能性があるという事、すれ違う可能性があるという事。何が起きてもおかしくないということです。スキンヘッドやOi! はイギリスから借り物の文化、わざわざ愚かな一面だけをこの国に置き換える必要もない。まあ自由なんでしょうけど。置き換えるにしてもよりによって一番肝の部分、一番大事な部分が欠落しているのは痛恨の極みです。「Oi!」をクリエイイトした張本人、コックニー・リジェクツのミッキー・ゲッグスについてこの前インタビューしたのですが「Oi!」は階級闘争で反政治的な意味合いだ! と断言していましたよ。情報が少ない中で何とか啓蒙しようとした音楽関係者の努力は認めますけど事が起きてフォロー、弁護も糞もないのは悲しいと思うのが正直な意見です。ミッキー・ゲッグスは政治的主張を掲げるスキンヘッド・バンドが「Oi!」を利用した事に対してボロカスに言っていました。ミッキー達がパキスタン人をパキと歌っているのは生活レベルでの軋轢。集団で練り歩いてジークハイル行進しているスキンヘッド達とアプローチは全然違うのです。それと日本では歌詞が蔑ろにされる悲しい風潮。これにはビジネスのミッキー・フィッツも

インタビュー時に生前、本気で嘆いていた。
ラスト・リゾート / 4SKINS 三代目ヴォーカルの
ロイ・ピアースも歌詞ありきだと歌詞をしっかりと読んでほしいと強く訴えていた。我が国で Oi! が紹介された時に日本盤 CD で間違いだらけの歌詞を記載し、適当なライナーノーツで世に出してしまったレーベルと関係者の皆様。今の惨劇が見えますか？今、連載などで真実を書いている私のもとに脅迫メールや殺人予告メールが届いてくる文化を、アナタ達は甘い蜜をすすりながら打ちたててしまったのです。と愚痴りたくなる夜もありますよね正直。しっかりと紹介していれば HIPHOP やレゲエ等と同じ様に、行き場を失った下層キッズ達の希望のジャンルになりえるはずだった…まあ、そんな事を言っても何かが好転する訳でもないで私は精進あるのみです。もっと素晴らしい世界観が内包されているんですよ、このジャンルには。一生寄り添える程の…。今こそなんです。差別が露わになり、階級が露わになった腐りきったこの国でこそ「Oi!」は強烈に求められるはずなんです！

新作アルバムですが

誤解を恐れず言えば、より聴きやすいアプローチも多く、メロディラインもスツと入ってきて耳に残るし、これまで閉塞感があった訳ではないけど、更に抜けた感じがしました。歌詞もよりストレートに入ってくるし勝手なイメージですが、煮詰めて制作してない感を感じてしまいました！タイトルもらしいなーと！これまでのアルバムと何か変わった事とかありますか？

出来た曲を直ぐに録音していきました。煮詰めるとダメではないんだけどイイ感じになる事が少ないんですよ、自分達の場合は。結構、自分はメンバーに言われる事を気にするんですよ 笑。良く悪くも。「またその感じかよ…」「またウォウウォウ系かよ…」てな具合に言われたら気にするんです。そのメンバーに言われた事を気にする事でまた一味違ったものに

なるんです。印象度のつけ方はモータウンに倣っています、あんな曲が作れるようになりたいですよ。歌詞に関しては、自分自身を歌う事から逃げない様に心がけています。一生歌えるもの。何歳になっても歌えるもの。相手がだれであろうか歌えるもの。タイトルはもう若い世代に寄せるとか流行に傾けるとか全くないモノでいこうとメンバーみんなでも考えました。元々ないですが。笑 名付けた当初より今の方がシックリきています。今までのアルバムと決定的に違うのはバンド感が格段に増した事。よりバンド然とした感じがパッケージ出来た事には可能性を感じました。
個性が強い、同じメンバーで同じ目的を持ち続けているからこそ進化・変化を長く続けられていると感じるのですが 6 人 (+1 人) と Rock バンドとしてはメンバーが多い方だと思います。そこでどうやってバンドメンバーの想いや考えをまとめて尚且つ同じ方向を向いて活動を続け、バンドの内のチューニングを行っているのでしょうか？ 10 年以上にわたり、精力的に活動を続けられている何か秘訣のようなものはあるのでしょうか？

どうでしょう。私に良きリーダーとしての資質があるから内容の濃い活動を続けてこれたのかは謎ですが 笑。先ずメンバーの話を聞くことをしますね。ヴォーカルは歌わせてもらっているって感覚は必要だと思います。バンドがいい時も悪い時も。長く続けているといい時も悪い時もありますから。そしてしっかりと目標と結果を提示する事。リリースをする、ツアーを重ねる、その結果がこれです！って。で、どこに向かっていくか皆で折り合いをつけて歩む。一枚一枚の積み重ねを信じられる環境を作るのも重要です。私達のように何のコネもなく、後ろ盾もなく、経済的な力もない人間が大きな物事に挑む時の最重要項目。1 日に 1 センチづつ積み重ねる事が出来る人は、一年で 3 メートル 65 センチを積み重ねる事になる事実を実証する事。あとはなんだろう…同じ方向を向いていなくても良いと思う。無理に向かせる必要なんてない。距離が近い

分、恥ずかしさも宿りますからね。しっかり向いているのに向いていない感じを出してしまふ人間も居ますから。涙を流している事が悲しみの証明にはならないでしょう？涙をこらえる人もいますからね。悲しくないのに涙をふりしぼる人も。だから腹を割って話す必要もないんです。無理に言いたい事を探す必要もない。言わなければいけない事を伝える。伝えたい事を伝える。長くいる家族ってそんなもんじゃないですか？私がメンバーをまとめて走っているのではなく、メンバーが俺をうまく走らせているのではないのでしょうか。

あと、前作に関する事で申し訳ないのですが、代表曲「グロリア」のグロリアは、女性の名前だと思うのですがそこにはどう言った意味が込められていたのでしょうか？特定の個人が若しくは何かの象徴なののでしょうか？

特定の固有名詞ではないです。これは讃美歌106番の「荒野の果てに」の GLORIA IN EXCELSIS DEO からのインスピレーションです。いつも自分の中に居る存在とでもいいましょうか、まだこの世界に居ようが、すでにこの世界を旅立っていようが、胸の中に在る

存在。誰にでもいるのではないのでしょうか。そんな存在との対話が閃きに繋がった曲がグロリアです。私の父親と母親はキリスト教でしたので私は必然的にキリスト教の幼稚園に通っていました。そこでの人格形成の根底に根深い部分はあると思います。

今後の THE PRISONER の活動について

いつまで続くかなんて解りませんが死ぬまでやと思います。自分は。色んな場所で色んな人達に届けたい。聴いてほしい。そこは大切にしたいですね。個人的な野望と言うか展開は青写真を描いていますが、ザ・プリズナーとしてはもういける所まで、出来る所まで！私だけの価値観で動かせるものではないので。メンバーみんなの夢と言うか指標があるので折り合いをつけながらメンバーみんなが誇れるような活動をしていきたいと思っています。



THE PRISONER

完全復活

2018.08.05

CLUB CITTA'

PUNK LIVES! FESTIVAL 2018



荒ぶ 渴いた風音 汝は戦士
戦う為に生を受け 此の地獄を彷徨ふ者なり
我は戦士 挑み 立ち上がらなければ 死在るのみ

CRIKEY CREW THE ONE

YSR から発売された THE ONE の初回プレスに収録されていた
TOMORROW を含む3曲収録、ドイツ販売用のオリジナルジャケット仕様

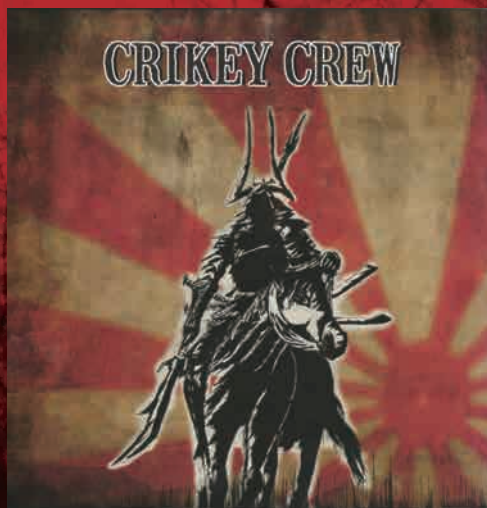
ドイツ版 シングルレコード
Respect and Honor Records

THE ONE

限定発売 ¥1200

収録曲

TOMORROW
SLUDGE HEADS
HOT BLOOD





西日本バンド放談 岡山 × 広島 片山裕基 × JELLO (CRIKEY CREW) (ASPHALT)

広島の際、岡山を拠点とし日本のスキンヘッズシーンを牽引するバンド、CRIKEY CREW。バンドのボーカリストである片山氏とは 20 数年前より親交があり常に前進する勇気をあたえてくれる面倒見のいい兄貴的存在である。バンドのみならず仕事からプライベートまでと話し出したらお互い止まることのない、いつもの会話を反映出来たら面白いかと思い対談形式で行わせて頂いた。たまたま居合わせた FRIARS " N " SNIFFERS のウッチー氏に進行役をお願いした。

文：JELLO

以下、K= 片山 / U=ウッチー / J=JELLO

U: まさかここで広島のハードコアと岡山のスキんズがさ、あの日のパッドランズ(※1)を見た俺としてはさ、こんな日が来るとは思わなかったよね。ジェロくんどう？あの日のクリッキー・クルーをどういう風にみとった？

J: 当時はハードコア、スキんズ、サイコビリーだったりバチバチしとった時期だったですよね。

K: 俺、あの時、広島に行ったら絶対モメると思った。ケンカ売ってくると思った。

U: 俺はその体制があると思ってたから、リ

スナーとしてエージェントユースとかも聞いてたから、今度広島でクリッキーあるから集まらんといいんらしいよ、と岡山で言われとったし。興味本位で見に行ったらよ。広島のハードコアと岡山のスキンヘッドからバチバチしたものは感じてたから。

K: 当時は知り合いとかあんまいなかったからね。広島のハードコアの人は明らかに岡山スキンヘッド嫌いだったでしょ当時。

J: 僕は嫌いではなかったですよ。笑

K: まあ構えるとかはお互いあったと思うよ当時。島根の市民会館の時も…

J: エージェントユース(※2) やっとるときです
ね、岡山勢と口論みたいになって、あれが遺恨
の始まりで。岡山広島戦争はそこからスタート。
笑

U: で、問題のバッドランズではステージは大
丈夫だけど客席がとにかく荒れて。

K: 広島のツッチン (UNDERSTAND Ba.) と話し
たけど、岡山のバンドが来て、曲も知って、
みんなもカバーしとって、でも岡山のバンドっ
てう事を広島の人らはあんま認めなくなっ
たから構えてたってあったんじゃないかって。
まあ、お互い近いから何かとバチバチしとっ
たよな。お互いバカにしあったり。

J: 広島の中だけでも、身内ですぐモメてし、
ましてや岡山に限らず県外のバンド来たら、絶
対ナメられちゃいけないで、みたいな意識がや
たらみんな強かったですね。

K: そうね、楽屋に行けば広島の若いパンクス
とかみんなシ〇ナー吸いよったし。どんなやね
ん。笑

U: あのバッドランズがたしか 97 年か 98 年か
な、岡山初アスファルトが 2000 年辺りかな。
岡山でハードコアのアスファルトが出てよう
やく広島と岡山が繋がった、お互いを認めるよ
うな空気になってきたんですね。

J: さっきの話の島根、そこでエージェントユ
ースとクリッキー・クルーがモメたんですね。
確か席が隣同士になって、境目にあったウ
ロン茶を飲んだじゃどうやっていうどうでも
良い理由で。明らかにこっちが悪いんだけどね。
もともと意識しあってたからすぐにモメ事に
発展して。数か月してオトナ気なかったね、っ
て話になり、クリッキー・クルー側から岩国で
ライブがあるからエージェントユースどう？っ
て、仲直りしよう、一緒に岩国行こうって話
がきたにもかかわらずメンバーが、何で一
緒にやらないけんのや！って言い出して
またモメて、それで、実現しなくなって。せ
っかく声かけてくれたのに。それで後にエ
ージェントユース

スやめてアスファルト始めてようやく、仲
直りが実現しました。

K: いや、たぶん一回エージェントユースと
ネオポリスホール(※3) で一回一緒にやっ
てるよ。カッペイがまだ生きてる時。ネバ
ー・アゲインも出とった。ア・ピース・
オブ・シットも。

U: あの頃くらいからはライブのお客さん
多かったし、ようやく良い時代が来たな
って感じ出した時でね、バチバチしてた
というよりバンド同士の切磋琢磨がみ
られるようになってきて。クリッキー・
クルー、アスファルト、ネバー・ア
ゲインとかが俺たち負けな負け、って
音楽に出してた。何かになりたいとか、
あのバンドみたいになりたいとかそう
いう憧れはもってるんだろうけど、そ
うじゃなくて俺は俺、みたいな姿勢が
いろんなバンドに出てきた。

J: まあ諦めからからくる部分もあるん
じゃけど。ああいう風にはなれんわ、と
か。でもなれんにしても強がりは要り
ますよね。

K: 強がりというかそれがバンドの芯に
なってるんだと思うわ。自分らのやり
たいことをやり続けるってのが一番大
切な気がするな。別に人にウケる為に
始めたバンドじゃないし。

U: ただ好きで、〇〇になりたいという、
wanna be な気持ちってあったと思う
んだけど、今残ってるバンドってそう
いう wanna be を自分のバンドを作
りたいって気持ちに変えたバンドが多
いと思うのよね。そういうバンドがや
っぱ強いと思う。リスナー歴の長い俺
としては CD やライブチケット買う立
場として楽しませてくれよって気持
ちになりますよね。この前のさ、岩
国のアスファルトのライブ観て思っ
たのよね。メンバー変わっても演奏
力変わらないし、クリッキー・クル
ーは近年演奏力ぐっと上がって聴き
ごたえあるし、自分もそうなりた
いって思って。憧れとか諦めとか
じゃなくて、そういうバンドが自分
の周りにいるってのは良かったよ
ホント。ティルウィングとかアニー
とか、ネバー・アゲインとかそう
いうバンドが中国地方

※1 バッドランズ

広島市白島町にあるライブハウス
当時のパンク系のライブはほとんどココ

※2 エージェントユース

アスファルト Vo. ジェロが在籍したバンド
Vo. カッペイが亡くなった事により解散

※3 ネオポリスホール

広島駅前にあったライブハウス
当時バッドランズに次いでパンク系多

は多いと思う。

K: 大阪を除いた西ってのは、昔は大阪や東京に左右されてて、岡山でやるってのが変な感じに思われてて、大阪でやんないの、とか東京行かないの、とか言われてきたけど、地元でキッチリやってたバンドは最後に勝つよね。シーンもしっかりしてオーディエンスもいて理想的なパンクの形を作れて。

J: ニューグローリー (※4) とかっていうのはそこを体現してくれてるイベントでもあったし、

K: 当事者だったから気づいてないかもしれないけどコールタールギグ (※5) もあったよ。すごく。ニューグローリーは1年の締めでもあり緊張感もあり。

J: お祭りでもあり。でも緊張感ってパンク含めロック全般として必要なものであって。でもお祭りの雰囲気もあって。そういうのが一緒にあるのが良いイベントの必要条件だと思いますね。

K: あとやっぱりライブのクオリティが昔より



※4 ニューグローリー
岡山で毎年行われるク
リッキー・クルー主宰によるイベント

※5 コールタールギグ
広島で行われるアスファルト主催の
ハードコア / パンク・イベント

良くなっとなるよね、昔なんてずっとチューニングしよるやつあったよね。まだやる！？みたいな。次の曲始まったらドラムがすぐズレだしたり。

J: あと見る方もやるほうも慣れてきてるところもあったりして。

K: おもしろいライブっていうのはどのバンドを見るかってのが大事になってくるんじゃないかな。どれだけ真剣なバンドを選ぶかっていう。名が知れとったら良いライブするかっていうとそういう訳じゃないし。名前が売れてなくてもいいライブしようってバンドはたくさんいるからな。昔からだけど俺が思うにリハーサルを一生懸命やらないバンドはダメな気がするね。しっかりやるバンドはいいバンド。

U: 結局、wanna be から脱皮して俺たちのっていう姿勢を持ったバンドが絶対良いし、サウンド的にもいろいろ出尽くした状況の中でそれも新しいことをやろうとするのが大事なんじゃないかって。リスナーもそれを求めると気がするしね。

J: 好きなバンドとやりたいバンドがまた違うっていうのもあるしね。

K: 日本でやっとなるバンドってパンクに関しては世界的に見てもすごいクオリティなんよね。メタルは海外が圧倒的にすごいけど。パンクに関しては日本が先進国。日本人ってそういう精神があるんよね。職人のおっさんじゃないけど。なんか技術を研ぎてえ、とか、切磋琢磨よ。侍スピリッツじゃないけど。どんどん日本のバンドは凄くなってライブもイベントも敷居が高くなってと思うよ。

U: …海外からしたら日本で独特なんだろうね。海外のツアーバンドはすげえとか言ってるけど、全部じゃないですよ。日本でもハイクオリティなバンドたくさんいますよ。

J: まあ日本はクオリティ高いですよ。

U: 昔に比べたら聴いてる音楽変わってたりするけど…



AGENT YOUTH 1998

K: そんな変わってないかな。

U: 家帰ったら人気の UK ものとか聴いたりするじゃないですか。

K: ヘビメタ。

U: そこは格好よくフーファイターズとか言うてほしかったけど…

J: デッドオアアライブは衝撃だったなあ。

K: 好きだったねえ。高校時代、ディスコ通いの青春を思い出すねえ。

J: 整形を繰り返したらああいう顔になるのかあ、って美的感覚の世界基準をみた気がしましたね。決して良いとは思えなかったけど。

U: ジェロ君は聴いてきた音楽変わった？

J: 変わったというより聴いてく音楽が広がったって感じかな。聴いっとたものを卒業してこっちに、とかはなかった。ところで、東京、大阪の人らはどうみてるんでしょうね、広島、岡山を。

K: 昔はやっぱり地方都市って見方だったけど今はそれぞれの都市のシーンがあるって感じじゃないかな。もともと広島と北九州はシーンの確立が早かった気がするね。北九州はプロが早くから出たし、服装センスと音楽のクロスオーバーが早かったよね、あと音もシンプル

だったってのも良かったんだろうね。変に技巧派とかいなくて。俺らの中でも九州ってのは粋だなんて思ってたよ。彼らは発信してたからね、地元から。

U: そこでいくと岡山もパンクバンドが早い時期からいましたよね。

K: けど発信できてなかったよね。みんな。その頃は岡山の肉弾、広島は GAS がいたけど。でも広島はそのあと愚鈍が出てきて東京とのラインでうまく流れを作ったよね。岡山のバンドはできなかった。

J: 岡山はなんか芸術の街みたいなイメージあるんですけどね。練習スタジオ多いし。バンドマン多いし。

U: 福山から広島と岡山を行ったり来たりしてたけど岡山ペパーランド(※6)にすぐ通った。

K: でも岡山の連中からすると、昔は愚鈍ってバンドの存在は大きかった。東京や関西とライン持とって。こっちは隣県なのに誰も仲良いバンドが岡山におらんかったし。ペパーランドは完成したライブハウスとしては西日本として早かったんよね。ブッキングのシステムが早くからできてた。誰かが主催しなきゃイベントができないってわけじゃなくて。電話して音源送ったらペパーランドがブッキングしてくれよった。

J: インディーズネットワークの流れで各地のバンド間でやりとりして全国ツアー組むって感じじゃなく、岡山は直接ライブハウスへ連絡だったんですね。

K: でも岡山には良いバンドがいなくて。姫路にはメリーゴーランド、広島は愚鈍、岡山に有名バンドはみんな岡山来たけど…岡山には良いバンドがいなかった。当時広島と岡山はなんかいろいろあったよ、別に何かあったっていう訳でもないけど。ヤンキー同士の小競り合いの発展形だけで。

U: 福山に岡山ナンバーが入ったら襲われるっていう「岡ナン狩り」ってのもあったし。

※6 岡山ペパーランド
岡山を代表する老舗ライブハウス

J: 山口では広島ナンバーみたらワザとぶつけてイチャンモンつけて…ブン殴るとか。浜田でも広島ナンバーだったら海水浴場でも襲われたり。

U: 岡山ペパーランドの話に戻るけど、あそこって…すごいと思うんですよね。駅から遠し、交通も微妙だし。でも有名バンドたくさんきてるし。ペパーって敷居高かったもんね。それでお客さん集まるし。

K: 昔はバンドが良かったらお客さんくるってのがあったからね。

J: 今は天気とかも影響しますもんね。笑

K: 昔はペパーランドに出るっていうだけでも一目おかれるような、そんなハコではあったよ。

U: ペパーはテープ審査もあったんですよね。

J: ウッディストリート(※7)でも審査があって。みんななかっ良いテープ作って、お願いします！っていう。それはそれで良かった事だったのかもしれないですね。

K: 昔ライブ出たいって言ったらテープ持っておいでって言われて、どんなの作りゃいいかわからなくて練習を録音して持っていったら、「何しようかわからんからダメ！」って、なんやそれ！って。

J: テープ審査受かって出たい、ここのライブハウスに出る、っていうのがステータスだったし、それでお客さんの信頼を得たから。今はライブハウスじゃなくアーティスト基準でお客さん来る感じですけど。

U: ペパーに行けば良いバンドに出会えるってのは俺はあったし…

K: ペパーの話ばかり…もうええやろ。もう…誰よりも岡山愛してるな。笑

J: 話を戻しますけどアスファルトを結成してすぐくらいに、片山君の方から四国ツアーの誘いがあって。まともにツアーもしてない時期に誘ってくれたし、エージェントユースの時に岩国の話を断った件もあり、なんか罪悪感あって…すみません本当に。笑

K: 俺は昔からイメージがあって。広島、姫路、岡山、高松この近県が何か一緒にできたらいいなってあって。その話を熊本のソウルクラフト(※8)のサカモトにしたら、彼も乗り気で。俺たちもやってこう、大阪、東京だけじゃないぜ！って。

J: こないだも大分行った時遊びに来てくれましたよ。

K: アイツは口は悪いけど憎めんやつだよホントに。熊本遠いなあ。もうちっと近けりゃなあ。

J: いろいろスタイルは有るけど片山くんとは、スキنزじゃハードコアじゃいうのは関係なく昔から仲良くさせてもらってますね。

K: 要するに日本人は人種より人を見るんじゃない？

J: 当時のバッドランズに戻ると、県外ってだけでバチバチしてましてやジャンルでもあったわけ。実際こっちはそんなこと思ってなかったけど。

K: あの当時、実際話したらさ、ブリッツが好



※7 ウッディストリート

無名バンドから有名バンドまで幅広く扱った広島のライブハウス。現在は閉店

※8 SOUL CRAFT

熊本を代表するハードコア・パンク・バンド

きなんよ、とかラストリゾート好きなんよ、とか。

J: ピリピリする必要なかったんですね。

K: だけどなんか知らんけど、変な空気になる。ディスターブ(※9)に岡山で拾ってもらっていろんな会場について行って、結果いろんなところで火種を作ったわ。当時。笑

J: 若さゆえ、っていうのもあったんでしょうけどね。

U: さっきの緊張感の話になるけど、やっぱり必要だと思うのよ。ニューグローリーとコールトールギグの話になるけど、その日仕切ってるバンドがしっかりしているとイベントが締まるなあと。みんなで和気あいあいで作るっていうのも中にはいるだろうけどマズイのは、そういうのが一緒にやるとうまくいかないと思う。

J: 和気あいあいの中にも緊張感はあるし、それは各バンドが勝負しに来た、って気持ちでやれば緊張感はだせると思います。別のベクトルでちゃんと用意できる。もちろん暴力的な発言とか物に当たったりして出る緊張感ではなく、キャリア積んだバンドなんかはマイクスタンドの前に立つだけでにじみ出るオーラがありますよね。

K: やっぱり出る側がどのくらいそのステージを重んじるかじゃないかと思うな。そこが大切だと思う。

J: そこに最大限に力を出せると信じてるから主催者はバンドを呼ぶわけだし。そこを出せれるバンドじゃないとダメだと思いますね。

U: そういうイベントばかりとは思わないけど、自分が見に行くものはそういうものであってほしい。昔は怖くても行ってたし。

J: 恰好よけりゃ怖いから行かんて発想にならんて思います。カッコ悪いバンドが変な緊張感出そうとするけ威圧的になって白けてしまっ。怖さの中にカッコよさもしっかりあれば、面白いと思ってくれるじゃろうし。

K: ライブに行く人ってのはやっぱりワクワク

したいから来るはずなんよ。だからやる側がその場にのまれると面白くなっていくよ。昔大阪のバンドとかとやりよる時に、俺らすごい当手下手で。大阪のバンド上手で。どうにかしようと思って、曲間を間髪入れずにやって、3曲一気にやって、また3曲一気にやって、ってとにかく工夫しようとしてたよ。今は普通にみんな連続で曲やってるいけど当時は1曲づつが多かったけんね。でも俺ら曲間切ると下手さがでちゃうから。ほんと、ジャパコアだったら1曲が終わってもなんか全然終わらなくてだんだんみんな憂鬱になってくよね、1曲がいつこうに終わらない。リップクリームが最初やりだして。うまけりゃいいんだけど、末端のバンドだったらホント地獄で。似たような10バンドとかあった日にゃあもう。そういう面もあって、曲間になるハウリングのピーって音は出したくない、だからメドレー。うまいこと曲のコードを合わせて繋げていく、そしたらこれが受けて。疾走感があって良いと。

J: やっぱあるんすよね、ハウってても歌うとか。「もっとボーカル上げて！」みたいな。收拾つかない。笑

K: あれ面白いよね。みんな初めて見たものには憧れたりするからね。

U: そういうのを越えて wanna be から脱却していきたいですよ。

K: しかしホント広島と仲良くなれてよかったな〜。

J: こっちも刺激受けまくって良い感じですよ。岡山に〇〇来るけみにいこーや、とか簡単に言えるし。高速使えば近いし。良い流れですよ。

U: 広島岡山は距離的なものとは違った壁があったからね。当事者にはそれぞれ想いがあったんだろね。人の繋がりが距離を近くしたんよね。

K: こっから先のバンド人生としては、こういう関係をもっと活発化させてそれぞれの地方の良いところを見つけて地方ならではの面白い事をするようにしたいね。今は昔と違って地方も

※9 ディスターブ
当時姫路で活動していた
ハードコア・パンク・バンド

変わってるからね。昔大阪が輝いて見えたのは、進学で地方の若者が集まったりしてたのがあったけど、戻って地元でまた輝き始めたのもあるよね。そういや今な、高校生でハードコアが好きだっていうのがまた出てきたんよ。親から教わったっていう。ついに出てきたんよ。

U: おれの友達の息子も16歳だけど、アスファルト好きなんよ。親父の影響。

J: 道を踏み外さない事を祈っておきます。

K: あと言うと今の子は本格的に鉦ジャンとかにはならん。でも逆に今はそうじゃなくてもいいんじゃない。コスプレじゃないんだし。

J: なんとというか個人レベルで良いと思います。もっと単純にパンクという音楽が好きっていう形で。パンクじゃけこうせにゃいけん、とかそういうのは無くしたいですよ。

K: でも若者の傾向かもね。何か形が見えないとやってる感がないと思うのは。昔のチーマーもそうだけど、お揃いの形を大事にしてたじゃん。俺らもそうだったし。学校でパンクって言うてる奴少数だったけどライブハウス行ったら何十人も自分みたいな奴がいて。俺らはここで生きてんだっていう一体感を感じたり。…でも広島今の大半のお客さんはこういう歴史とかもう知らんやろうな。

J: 西日本はいろんなバンド多いですよ。

U: やっぱレコード屋があったのは良かったんじゃないかね。広島ならミザリー、岡山はディグディグ、グリーンハウス、ほかにもそれぞれの地方にパンクを大々的に紹介してる場所があるってのは。

K: ガスや肉弾がいたように、その頃から伝統があるんだよね。

J: 今の若い子らはCD売れて、バンドがCD作ってもあんまり売る気を感じなかったりする姿を見かけるんじゃないけど、たぶんCDに対する感覚が違うけ。例えばYOUTUBEに上げる事を目的にしたりとか。

K: たぶんレーベルの観点がないんだと思うよ。

俺らはどこからのレーベルとか気にするけど。どこかのレーベルから出す時にいろいろ言われるくらいなら自分らで出そう、みたいな。若かったら手売りで100枚売れるし。県外に行くつもりもなければそれで充分だし。

J: 自分らの価値観だけでやってきたいってことなんですかね。

K: 自分らの頃と違って高校生とかじゃなくて社会人になってバンドやってるのが多いからCD作ってもみんなでお金出せばさほど大きな出費にならないしね。

J: このレーベルから出したいみたいな憧れがもうなくなってきよんですかね。

K: でも別にレーベルがないから格好悪いってこともないでしょ。むしろレーベルから出る事で売れる時代かといえぱそうでもないかもしれないよ。アンテナを張り巡らしてる奴ならそんなものでも買うだろうし。売る側もお金かかるからSNSで宣伝するようになって、もはや雑誌に、とかそこに憧れがなくなってきてるんだろうね。

J: まあでも、最終的にはレーベル云々ではなく格好良いかどうかですもんね。このライブハウスでライブしたから、みたいなものないし。

K: 最近の若者のバンドってもはや上下関係もないしね。もっとリアリティなところに格好良さを感じるんじゃないかね。同じイベント出でライブをお互い観て。メジャーを目指してるバンドもいれば大して目指してないバンドもいれば。広島ならブラッドサッカー(※10)という老舗レーベルがあるけど岡山にはないから。みんな独自でやるしかない。もしかしたらもっと細分化されて地方化されるかもしれない。広島産ハードコア、って感じで。地産地消で。昔みたいに洗練されたバンド、有名なバンドが素晴らしいって発想もなくなるかもしれない。東京から来たからってバンドだからちやほやされたりすることもなくなって。やっぱ世の中の流れ、やな。

※10 BLOOD SUCKER RECORD

数多くのハードコア/パンク・バンド

をリリースしている広島を拠点にした老舗レーベル

…俺らもう終盤に差し掛かっとなるからな。人生…

J: 哀愁が…ww あとどれくらいできるかって考えだすと、ねえ。

K: やっぱりある一定ライン以上いくと格好良くなるからね。いくらやる気があっても声も出なくなるし、立ち方がおじいさんみたいになるし。あと10年やれって言われたらまあやるけど…かっこよくなれるかね？もう…あとリアルな数字だと5年なのかなあ。ライブやってアルバム作って…最後のアルバム出す事は目標かな、あと12インチのリリースも。

J: 僕は…アルバムを出して、またあと海外ツアー行きたいですね。

U: どこかライブで行きたい場所とかは。

K: いや、もうどこでもええよ。行けるなら。実際問題国外は仕事上無理だろうなあ。うん、やっぱりアルバムを出すことが大切だな。周りのバンドとかどうすんだろう最後…。アルバムを出し切ったら…力尽きるかもしれない。あとは格好良いライブをできるかできんかったのも大事だな。突っ立ってボーっと歌う状態なるくらいならね、もう。

J: みんな年取ってヘルシーな方向にいくのもなんかわかりますね。体調を維持しようって心がけるの。



K: それと10年後ってなると、シーンがどうなっとなるかわからんよね。この5年でも変化を感じるし、まず周りも今やってるバンド減るだろうし。今の時代、もはやUKっていうものに魅力がなくなって、アメリカンハードコアが支持されとるように思っとなるんだけど、10年後はまた違うじゃんきっと。UKとUSの焼き増しが終わったらもう何にもなくなるよね。その次ってのが今出てきてないからもはやバンドの形態事態が変わるかもね。今のお客さんも大半はライブハウスにおらんくなるだろうし。日にちが経つ事を拒否して、楽しかった頃を引きづってるのかもね、リバイバルって。でも今の若者はそんなシンドロームからは外れてるよね。俺らは次の世代のために何かをやって、っていうけど、感覚がもう違うからね。あと10年経つと多分ニューヴィジョンが出てくると思う。リバイバルを繰り返したパンクではなく、別の形でそれがパンクと呼ばれて。ブラックミュージックだって70年代にアフロでディスコだったのが80年代にカンゴールの帽子にアディダスでラップに代わっていった。パンクも同じだと思う。キャンディーズとか普通の子が今聴く？キャンディーズ、ピンクレディーからおニャン子クラブ、モーニング娘。、AKBってどんどん入れ替わってくじゃん。人が離れてまた別の世代が次のものを見つけていくんよね。

J: 若い子がライブに来ないっていうのはそういう事かもしれませんね。確実に価値観は変わってきてますよね。

U: やはりそこは我々が考えてもどうしようもないことなので、5年後すらどうなってるかわからない時代だからこそ今それぞれのバンドの音楽を追求してってもらいたいですね。とにかく健康でいること、アルバムを出すこと、それ目指しましょう！

Present

EDGE 創刊
読者プレゼント
抽選で各1名様にプレゼント

A



九狼 咩 CAP

B



九狼 咩 リストバンド

C



九狼 咩 ワッペン

D



ASPHALT CAP

E



ASPHALT ステッカー

F



ASPHALT ワッペン

G



CRIKEY CREW T シャツ
(S, M, L, XL)

H



CRIKEY CREW 「THE ONE」
(アナログ7インチ)

I

TEENAGE
BOTTLE
ROCKET

JAPAN TOUR 2017
ポスター



J

V.A /
A TRIBUTE TO
TEENAGE
BOTTLE
ROCKET



K

THE KNOCKERS
SO-CHO PISTONS
TEENAGE BOTTLE ROCKET
3WAY SPLIT CD



応募方法

下記アドレスに右の必須項目を
入力の上ご応募ください。
右の QR コードを使うと便利です。

info@edge-mag.net

応募締切…2018年10月31日

お送り頂きました個人情報はプレゼントの発送以外には使用致しません。

- ①希望商品 (A ~ K)
- ②お名前
- ③送り先ご住所
- ④お電話番号
- ⑤ご感想などあれば…



はじめに冊子を製作するにあたってご協力頂いた KO 氏、MUNE 氏、JUNICHIRO 氏、片山氏、ならびに急遽（製作に）加わってくれた史朗くんありがとうございました。数年前から早朝ビストンズの NASS くんお店（DUMB RECORDS）でカレー（DUMB 牡蠣カレーは最高に美味しい）食べながら他の冊子を見ていて、この人の話をこういう切り口で聞いてみたいよね！こういったこと（ハードコアや広島についてなど）聞いてみたいよね！って感じで話してて、だったら作ってみよう！って事で今回製作する流れとなった。そして、創刊号にして最高に面白い冊子になった！作っていてドキドキしたのは久しぶりだね！いろんな人に読んでもらいたが、特に若い人に読んでもらいたい。そして自分的に解釈して、もっと自由に、もっと反発して自分勝手に行動してほしいと僕は思う。なんとなくそれっぽいパンク、ハードコアの感じじゃなく、（下手に頭デッカチにならないで）「うっせーなおっさん！ヨボヨボでかっこ悪いじゃねーか！」って言えるくらいギラついてほしい。文才がなくて夜な夜なあーでもないこーでもないって書きちゃ消し、書きちゃ消し。。締め切り直前の深夜、先輩に勧められた「有田と週刊プロレスと」と見ながらプロレスとハードコアを考えてみる。

EDGE 編集人 BEN-K（蟲酸）

EDGE の製作にあたってインタビュー、対談を快く引き受けてくれた各地のアーティスト、仲間の方々、俺たちに力を貸してくれて、ありがとうございました。そしてルーズな俺を前進あるのみでバックアップしてくれたスタッフのみんな、ありがとう。迷惑かけまくった俺が言うのもなんだけど充実した時間を共に過ごせたと思っている。大昔、不定期にでていた某フリーペーパーのコラムを担当した経験があるんだが、飽き性からか毎号毎号、休みを頂くことになる。なめとる。当時のスタッフ、読者の皆さん本当にすみませんでした。迷惑をかけた贖罪としてこの EDGE を盛り上げて行く所存です。SNS も良いがこういう冊子にしか発信出来ないリアルな言葉の重み、深みも大事だと思う。誰かの何気ない一言が読者の人生を良い方向へ変えるきっかけになればと思っています。

EDGE に興味を持ってくれてありがとう。

EDGE 編集人 JELLO

(ASPHALT/COALTAR RECORDS)

EDGE WEST SIDE PUNK MAGAZINE

編集

NASS RAMONE

JELLO

BEN-K

制作

白川史朗 BEN-K (web)

naotin



EDGE ホームページ公開中
<http://edge-mag.net/>





www.edge-mag.net